



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

2015年3月期 決算説明会資料

2015年6月1日

株式会社ケアサービス
(JASDAQ 2425)

- P.3 2015年3月期 決算概要
- P.14 2016年3月期 業績予想概要
- P.18 介護保険法改正と当社中期成長戦略の推進
- P.30 参考資料



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

2015年3月期 決算概要

2015年3月期 実績（対期初予想比）

- 売上高： 対期初予想比 1.3%減収
- 営業利益： 同 57.4%減益
- 経常利益： 同 56.4%減益
- 当期純利益： 同 73.3%減益

(百万円)	15/3月期		15/3月期		対期初予想比 (5/15付)	
	期初予想	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	7,724	100.0%	7,623	100.0%	△ 101	-1.3%
介護事業	5,644	73.1%	5,594	73.4%	△ 49	-0.9%
エンゼルケア事業	1,639	21.2%	1,621	21.3%	△ 17	-1.1%
フォーライフ事業	440	5.7%	407	5.3%	△ 32	-7.5%
営業利益	277	3.6%	118	1.6%	△ 159	-57.4%
経常利益	266	3.4%	116	1.5%	△ 150	-56.4%
当期純利益	150	1.9%	40	0.5%	△ 110	-73.3%

2015年3月期 決算サマリ (対前期比)

- 売上高： 対前期比 3.8%増収
- 営業利益： 同 47.0%減益
- 経常利益： 同 46.8%減益
- 当期純利益： 同 65.3%減益

(百万円)	14/3月期		15/3月期		対前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	7,342	100.0%	7,623	100.0%	281	3.8%
売上総利益	1,057	14.4%	1,046	13.7%	△ 11	-1.1%
販売費及び一般管理費	833	11.4%	927	12.2%	93	11.3%
営業利益	224	3.1%	118	1.6%	△ 105	-47.0%
経常利益	219	3.0%	116	1.5%	△ 102	-46.8%
特別利益	0	0.0%	0	0.0%	0	-
特別損失	0	0.0%	18	0.2%	18	-
当期純利益	117	1.6%	40	0.5%	△ 76	-65.3%

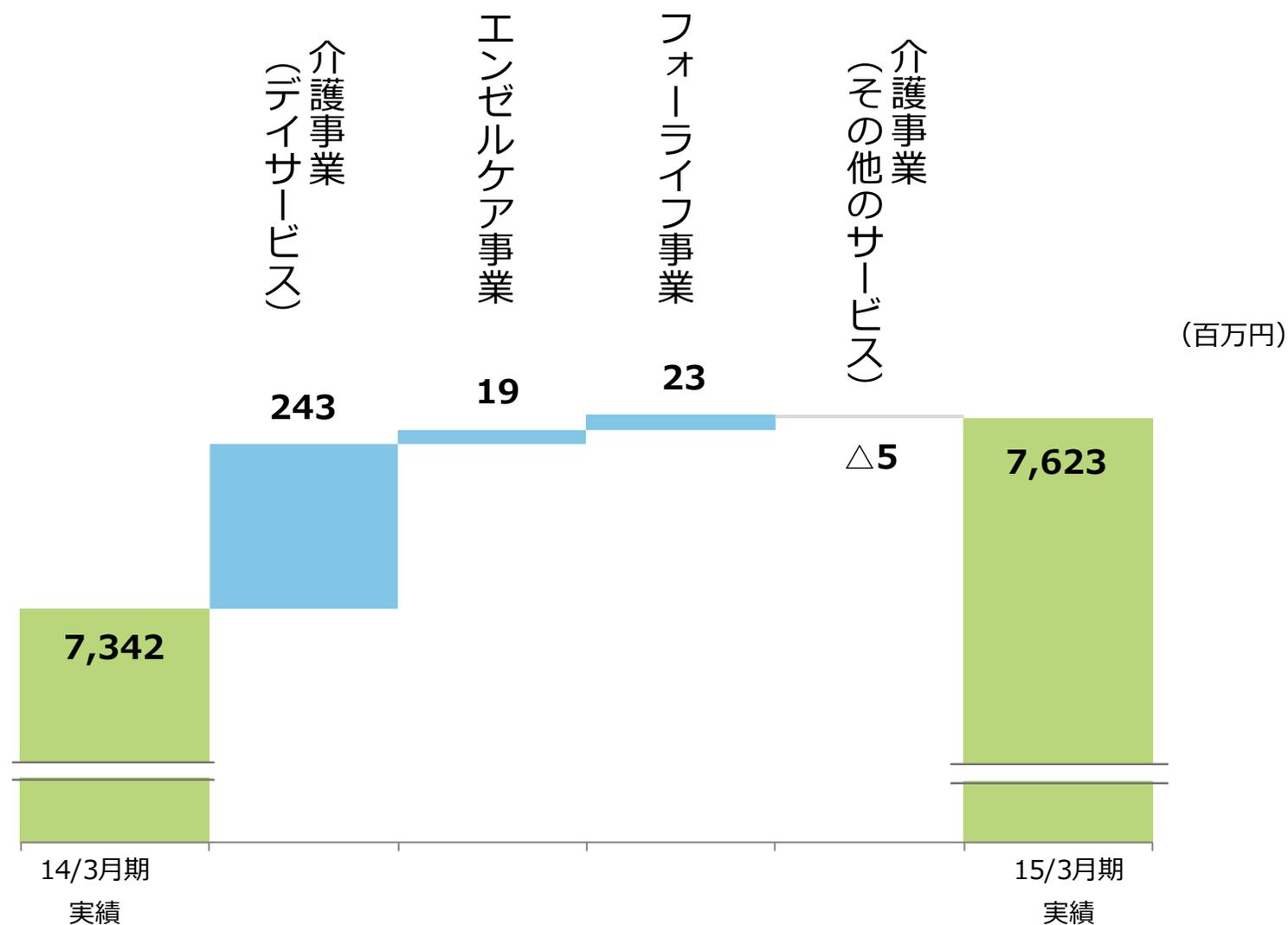
2015年3月期 事業別業績概要

- 介護事業： 対前期比 4.4%増収 12.7%増益
- エンゼルケア事業： 同 1.2%増収 2.2%減益
- フォーライフ事業： 同 6.3%増収 228.0%減益

(百万円)	14/3月期		15/3月期		対前期比	
	実績	対売上高 構成比	実績	対売上高 構成比	増減額	増減率
売上高	7,342	100.0%	7,623	100.0%	281	3.8%
介護事業	5,356	73.0%	5,594	73.4%	237	4.4%
エンゼルケア事業	1,602	21.8%	1,621	21.3%	19	1.2%
フォーライフ事業	383	5.2%	407	5.3%	23	6.3%
セグメント利益	858	11.7%	828	10.9%	△ 29	-3.5%
介護事業	400	7.5%	451	8.1%	50	12.7%
エンゼルケア事業	426	26.6%	417	25.7%	△ 9	-2.2%
フォーライフ事業	31	8.2%	△ 40	-9.9%	△ 71	-228.0%
調整額	△ 634	-8.6%	△ 710	-9.3%	△ 75	11.9%
営業利益	224	3.1%	118	1.6%	△ 105	-47.0%

2015年3月期 売上高の増減分析

デイサービス（通所介護サービス）・エンゼルケア事業・
フォーライフ事業とも、対前期比で増収を達成

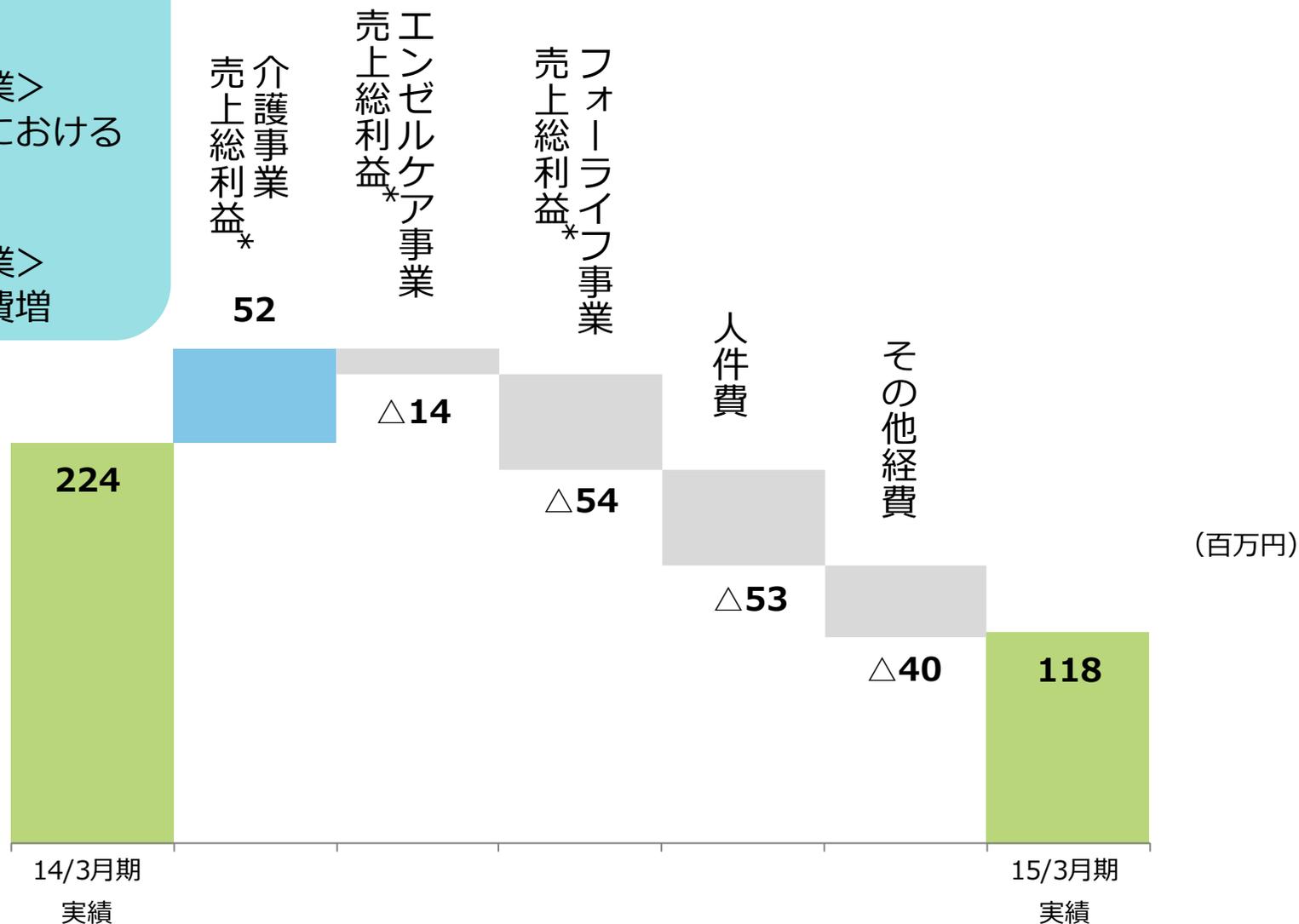


2015年3月期 営業利益の増減分析

<介護事業>
 既存店の売上増

<エンゼルケア事業>
 クリーンサービスにおける
 売上減

<フォーライフ事業>
 新店開設に伴う経費増



*注意： 人件費を除いた売上総利益額です

2015年3月期末 貸借対照表サマリ

(百万円)	14/3月期末		15/3月期末		対前期末比 増減額
	実績	構成比	実績	構成比	
流動資産	2,319	72.6%	1,904	67.1%	△ 414
現金・預金	1,092	34.2%	592	20.9%	△ 500
売掛金	1,093	34.2%	1,162	40.9%	68
固定資産	874	27.4%	934	32.9%	60
有形固定資産	338	10.6%	396	13.9%	57
無形固定資産	181	5.7%	141	5.0%	△ 40
投資その他の資産	354	11.1%	397	14.0%	43
資産合計	3,193	100.0%	2,839	100.0%	△ 353
流動負債	1,314	41.2%	1,033	36.4%	△ 281
買掛金	147	4.6%	137	4.8%	△ 10
短期借入金	300	9.4%	0	0.0%	△ 300
1年以内返済予定の 長期借入金	197	6.2%	230	8.1%	33
固定負債	761	23.9%	680	24.0%	△ 81
長期借入金	449	14.1%	464	16.4%	14
負債合計	2,076	65.0%	1,713	60.4%	△ 362
株主資本	1,116	35.0%	1,125	39.6%	8
資本金	205	6.4%	205	7.2%	0
資本剰余金	138	4.3%	138	4.9%	0
利益剰余金	829	26.0%	874	30.8%	44
自己株式	△ 55	-1.7%	△ 91	-3.2%	△ 36
評価・換算差額等	0	0.0%	0	0.0%	0
純資産合計	1,116	35.0%	1,125	39.6%	8
負債・純資産合計	3,193	100.0%	2,839	100.0%	△ 353

【ご参考】自己資本比率の推移

- 14/3月期末 35.0%
- 15/3月期末 39.6%

2015年3月期 キャッシュ・フロー計算書サマリ

(百万円)	14/3月期 実績	15/3月期 実績	対前期比 増減額
税引前当期純利益	219	97	△ 121
減価償却費	126	148	22
売上債権の増減額	△ 42	△ 68	△ 26
仕入債務の増減額	△ 4	△ 10	△ 5
その他	△ 283	△ 81	201
営業活動によるキャッシュ・フロー合計	14	85	70
投資活動によるキャッシュ・フロー合計	△ 87	△ 184	△ 97
借入金の増減額	146	△ 252	△ 398
配当金の支払額	△ 21	△ 21	0
その他	△ 125	△ 127	△ 2
財務活動によるキャッシュ・フロー合計	△ 0	△ 400	△ 400
現金及び現金同等物の増減額	△ 72	△ 500	△ 427
現金及び現金同等物の期末残高	1,092	592	△ 500

■ 事業別事業所数の推移

(事業所数)	14/3月期				15/3月期				対前期末比 増減数
	新規	移転 統合	閉店	期末 事業所数	新規	移転 統合	閉店	期末 事業所数	
介護事業	2	0	1	81	6	0	0	87	6
デイサービス（通所介護サービス）	1	0	1	52	3	0	0	55	3
訪問入浴サービス	1	0	0	14	0	0	0	14	0
その他サービス	0	0	0	15	3	0	0	18	3
エンゼルケア事業	3	0	0	21	0	0	0	21	0
フォーライフ事業	0	0	0	3	1	0	0	4	1

■ 事業別従業員数の推移

(人員数)	14/3月期	15/3月期	対前期末比 増減数
介護事業	905	954	49
エンゼルケア事業	182	185	3
フォーライフ事業	54	63	9
合計	1,141	1,202	61

< 15/3月期 新規開設店舗 >

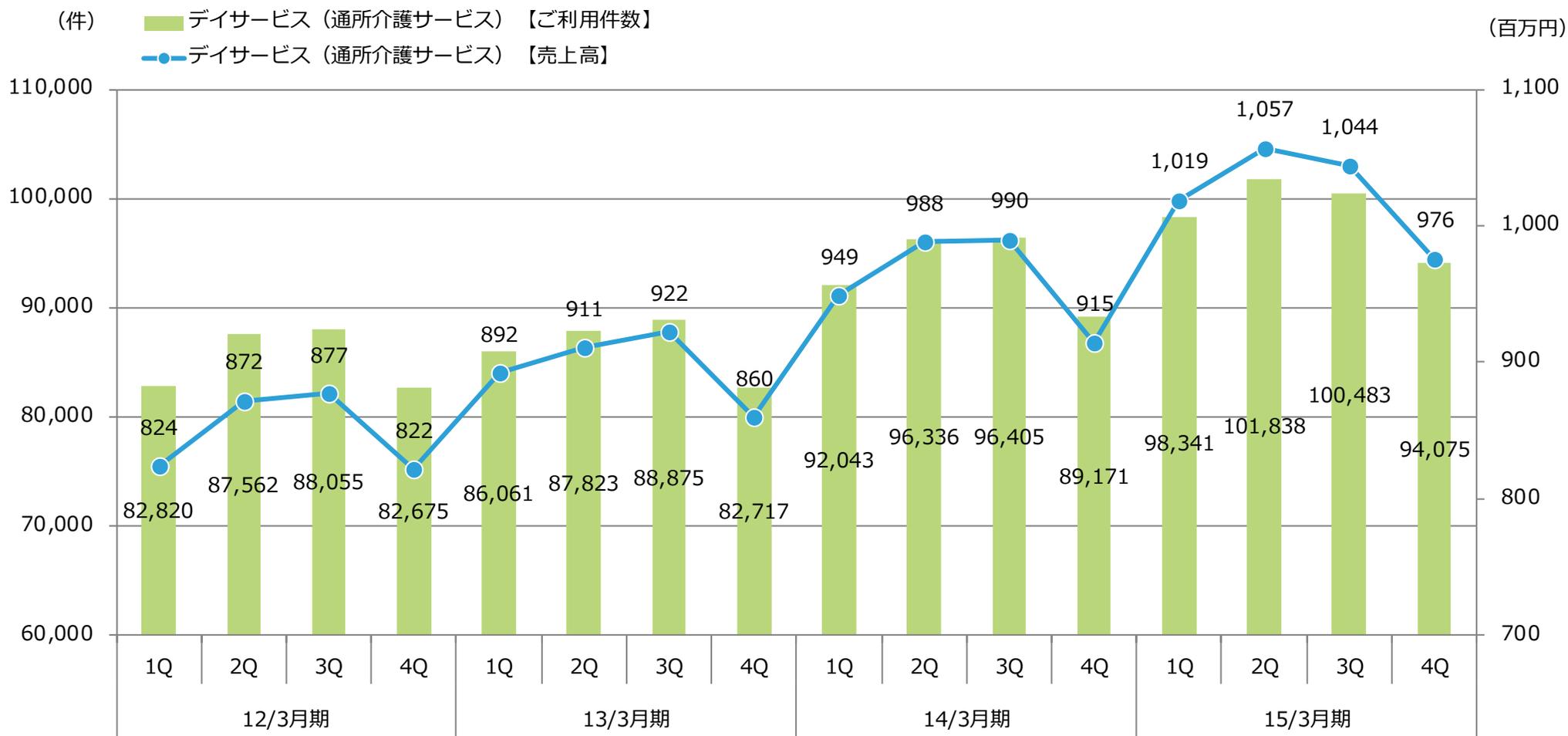
- デイサービスセンター吉祥寺【14/4】
- デイサービスセンター西蒲田【14/12】
- デイサービスセンター豊町【15/2】
- フォーライフ草加【14/11】
- ショートステイ西蒲田【15/1】
- 居宅支援永福【14/6】
- 配食 池上センター【14/6】

介護サービス別売上高とご利用件数の推移

- 事業所開設、既存店におけるお客様の増加により、売上高、ご利用件数ともに増加

	13/3月期 実績			14/3月期 実績			15/3月期 実績		
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期
売上高【百万円】									
介護事業	2,557	2,508	5,065	2,684	2,629	5,313	2,838	2,756	5,594
デイサービス（通所介護サービス）	1,803	1,775	3,578	1,937	1,905	3,842	2,076	2,020	4,096
訪問入浴サービス	516	489	1,005	513	496	1,009	522	494	1,016
その他	238	244	482	234	228	462	240	242	482
ご利用件数									
介護事業	250,412	245,703	496,115	264,603	258,556	523,159	273,178	262,575	535,753
デイサービス（通所介護サービス）	173,884	170,755	344,639	188,379	185,576	373,955	200,179	194,558	394,737
訪問入浴サービス	37,301	35,343	72,644	37,256	36,070	73,326	37,203	35,198	72,401
その他	39,227	39,605	78,832	38,968	36,910	75,878	35,796	32,819	68,615

介護事業（通所介護） ご利用件数の推移





介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

2016年3月期 業績予想概要

2016年3月期 業績予想サマリ

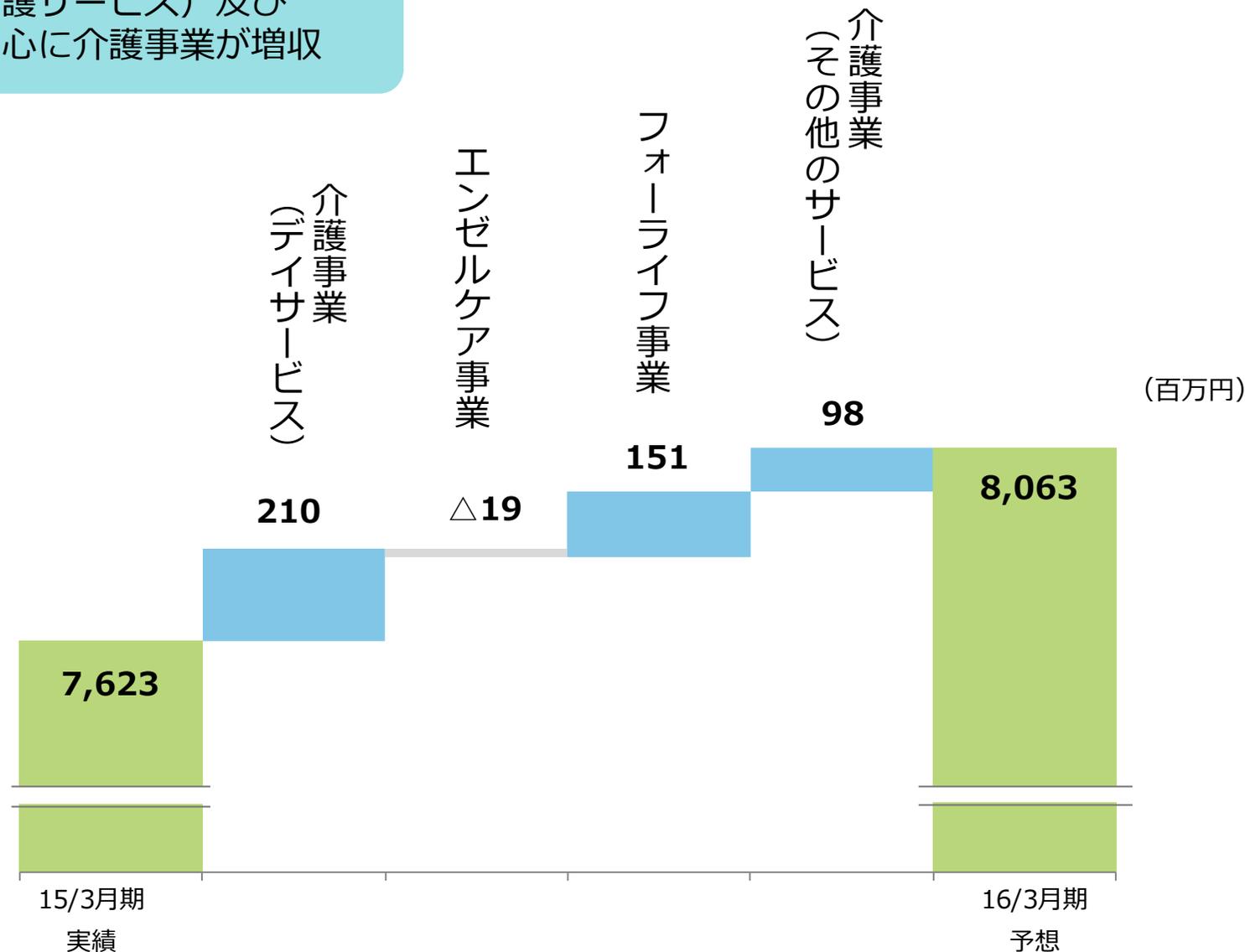
- エンゼルケア事業については、同業他社との更なる競争の激化が予想されるが、既存21店舗の稼働率向上を推進
- 事業所運営の効率化及びサービスの質を向上させる観点から、デイサービス（通所介護サービス）3事業所、訪問入浴サービス2事業所、訪問介護サービス1事業所の移転統合を予定
- デイサービス（通所介護サービス）移転統合後52店舗の稼働率向上を推進
- 訪問入浴サービス移転統合後12店舗の稼働率向上を推進
- 訪問介護サービス移転統合後3店舗の稼働率向上を推進
- サービス付き高齢者向け住宅事業における前期新規開設1店舗及び既存施設3店舗の入居率向上を推進

	(単位)	15/3月期	15/3月期	15/3月期	16/3月期	16/3月期	16/3月期	対前期比	
		上期実績	下期実績	通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	増減額	増減率
売上高	(百万円)	3,771	3,852	7,623	4,002	4,060	8,063	440	5.8%
介護事業	(百万円)	2,838	2,756	5,594	2,969	2,933	5,903	308	5.5%
エンゼルケア事業	(百万円)	740	880	1,621	780	820	1,601	△ 19	-1.2%
フォーライフ事業	(百万円)	192	215	407	252	306	558	151	37.2%
営業利益	(百万円)	118	0	118	117	148	265	147	124.2%
経常利益	(百万円)	119	△ 2	116	107	134	241	125	107.5%
当期純利益	(百万円)	64	△ 23	40	56	71	128	87	215.3%
主要拠点数									
デイサービス（通所介護サービス）	(拠点)	53	55	55	54	52	52	△ 3	-5.5%
エンゼルケア	(拠点)	20	20	20	20	20	20	0	0.0%
フォーライフ※	(拠点)	3	4	4	4	4	4	0	0.0%

※ 特定施設入居者生活介護の認可を受けております

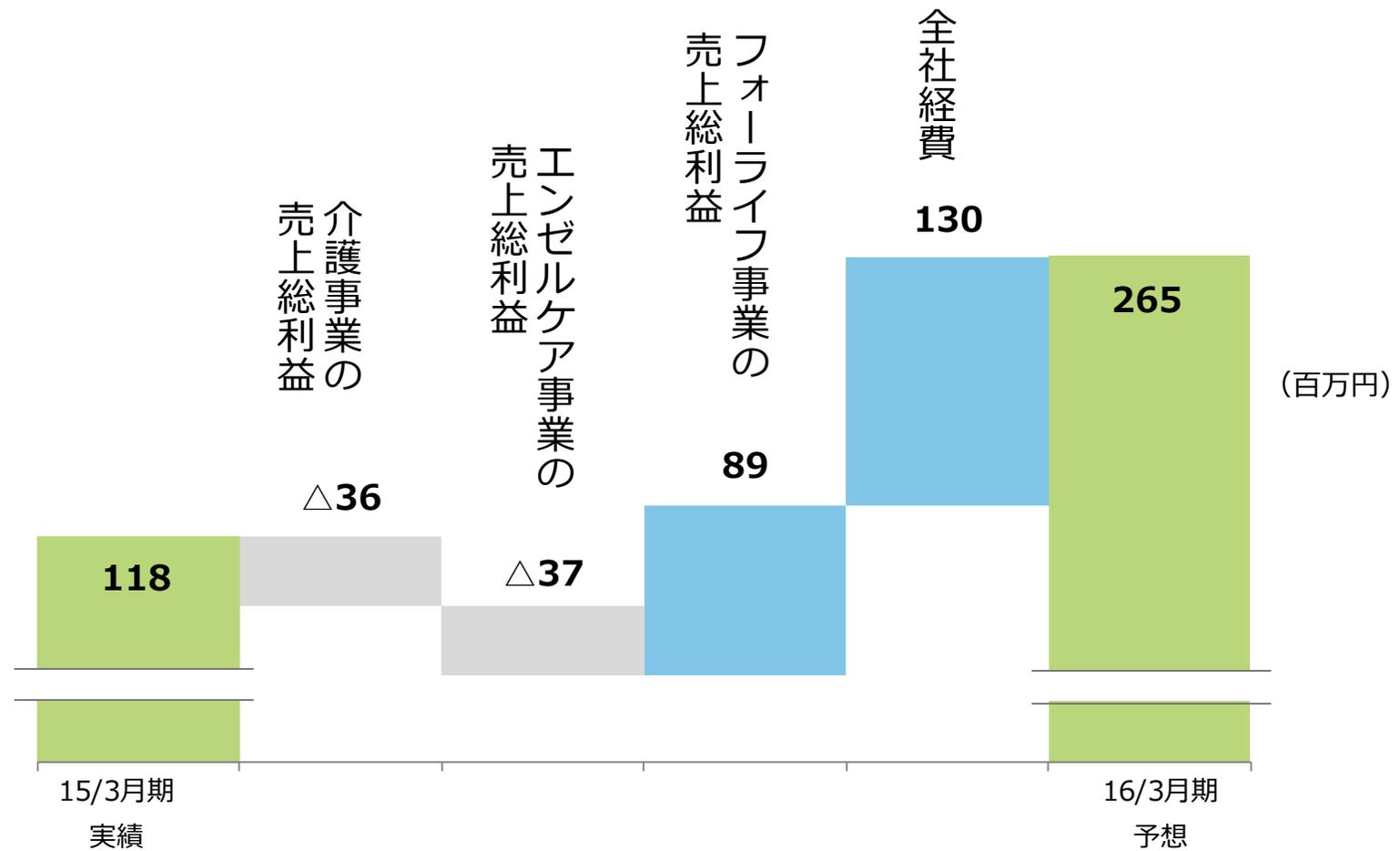
2016年3月期 売上高予想の増減分析

前期・今期開設事業所の効果により、
 デイサービス（通所介護サービス）及び
 フォーライフ事業を中心に介護事業が増収



2016年3月期 営業利益予想の増減分析

消費税等、租税公課の会計処理変更（販管費→売上原価）により、売上総利益は減少するものの、当該租税公課分の全社経費減少及び介護事業、フォーライフ事業の伸びにより、増益を予定





介護保険法改正と 当社中期成長戦略の推進

中重度要介護者・認知症高齢者対応の更なる強化

[必要な対応]

- 中重度の要介護者の支援
(= 住み慣れた家で最期まで過ごせる環境「地域包括ケアシステム」の構築)
- 活動と参加に焦点を当てたリハビリテーション推進
- 看取り介護における対応の充実
- 口腔・栄養管理における取り組みの充実

介護人材確保対策の推進

[対策の方向性]

- 介護職員処遇改善加算拡大→介護職員の報酬アップ
- サービス提供体制強化加算の拡大→介護福祉士の重要度アップ

サービス評価の適正化と効率的なサービス提供体制の構築

- 報酬改定

地域単価の変更

- 当社が注力している東京23区（1級地）は、上乘せ割合が18%から20%に拡大

		1級地	2級地	3級地	4級地	5級地	6級地	7級地	その他
上乘せ割合		20%	16%	15%	12%	10%	6%	3%	0%
	70%	11.40	11.12	11.05	10.84	10.70	10.42	10.21	10
人件費割合	50%	11.10	10.88	10.83	10.66	10.55	10.33	10.17	10
	45%	10.90	10.72	10.68	10.54	10.45	10.27	10.14	10

人件費割合

70% 訪問介護・訪問入浴・居宅介護支援

55% 認知症対応型通所介護・短期入所生活介護（短期入所は2014年度まで45%）

45% 通所介護（デイサービス）・特定施設入居者生活介護

新加算等

- 中重度者ケア体制加算
- サービス提供体制強化加算
- 認知症加算

プラス要因

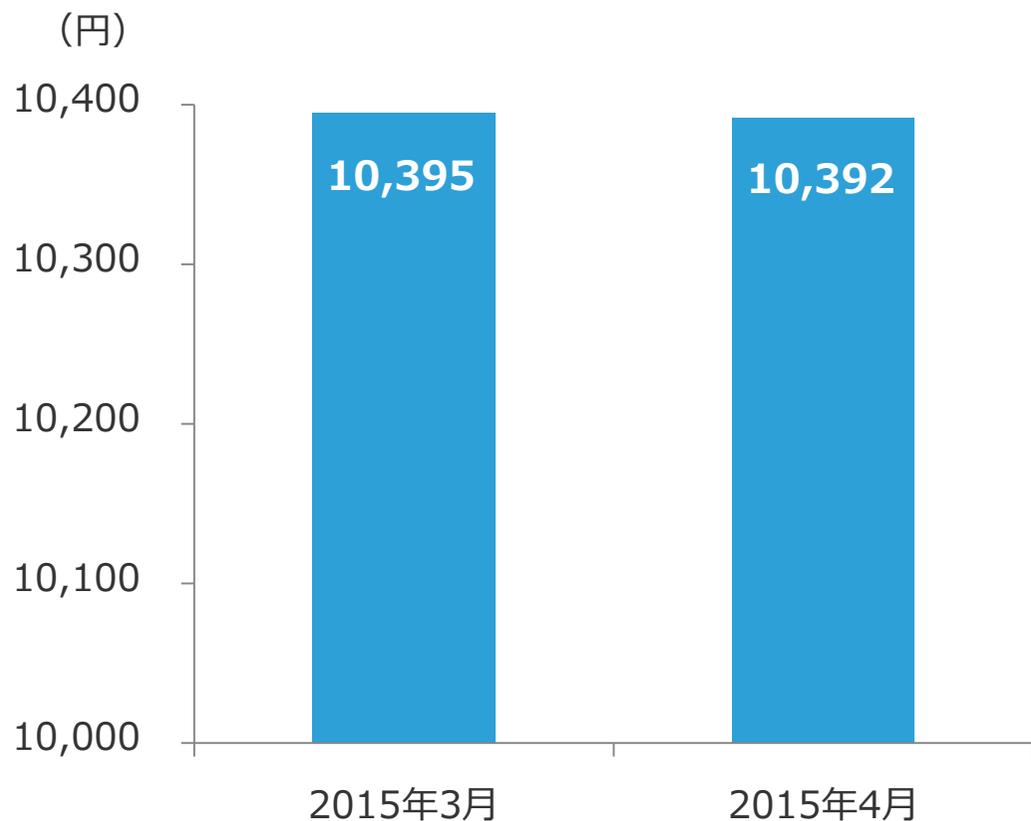
- 中重度者ケア体制加算
- サービス提供体制強化加算
- 地域区分による一単位当たりの増加

マイナス要因

- 基本報酬の減算

当社介護サービスの中核であるデイサービスにおける基本報酬の減算を－4.86%と想定していたが、プラス要因により、影響は軽微に留まる。

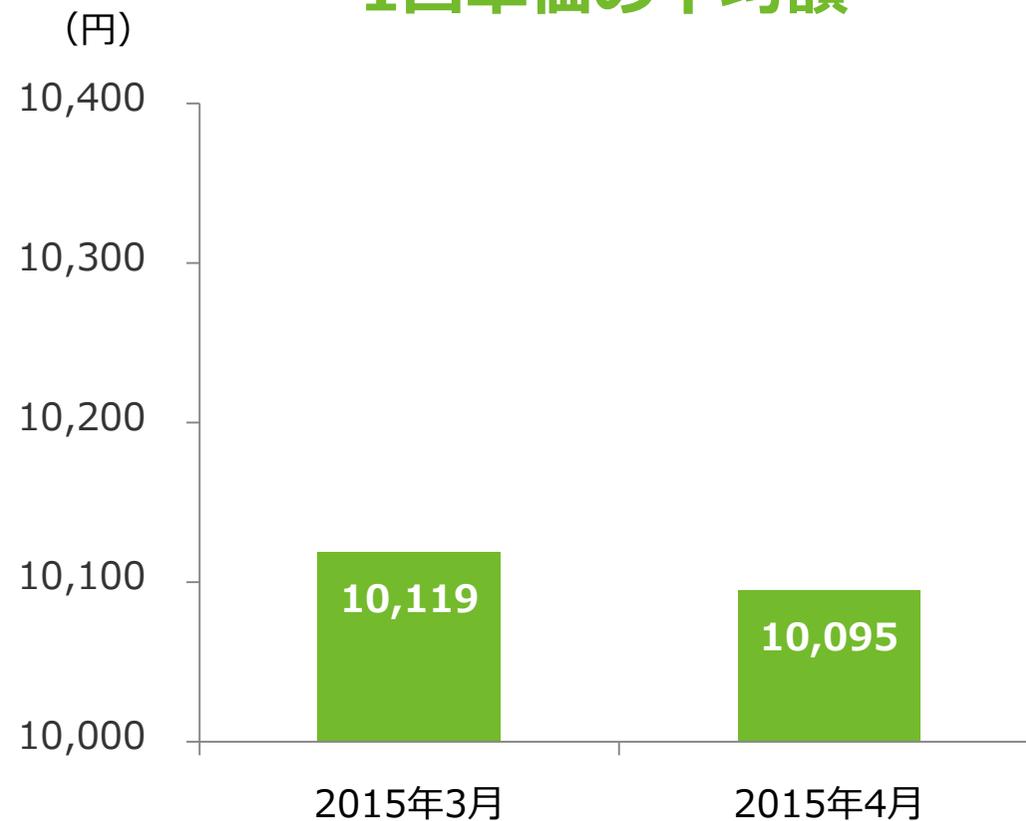
デイサービス1回単価



前月比 3 円減額 (0.03%減)
※介護職員処遇改善加算を除く

全介護サービス

1回単価の平均額



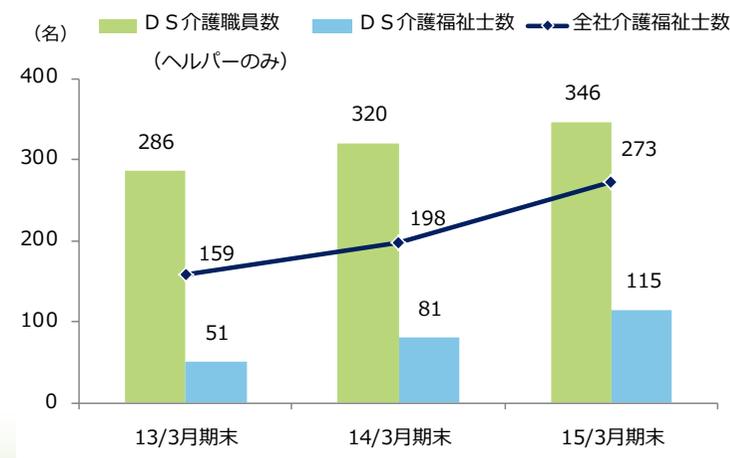
前月比 24 円減額 (0.24%減)
※介護職員処遇改善加算を除く

東京23区ドミナント戦略

- 1 級地展開により**地域単価**でプラス
- 厚生労働省が推進する**地域包括ケアシステムの構築**において、各介護サービスを東京23区を中心に展開しているドミナントエリアを生かす

採用・研修・教育の強化

- 大卒に限らず、高校、専門学校卒業の方から新卒採用を募り、中長期での育成計画を実施する
- 研修・教育の強化により、**サービス提供体制強化加算**の要件である介護福祉士の人数が増加



中重度要介護者・認知症高齢者への 対応強化

- 地域包括ケアシステム体制構築
- リハビリテーション推進
- 看取り機能の充実
- 口腔・栄養管理の強化 など

具体的な取り組み

- 中重度者ケア体制加算の取得
- 認知症加算に向けた準備
- 看取り介護加算への対応

デイサービス介護度比較

	要支援利用率	要介護3～5の ご利用者の割合
東京23区 平均	26.01%	37.1%
当社	5.7%	48.0%

※ 東京都福祉保健局
平成26年度介護保険事業状況報告
平成26年12月分より当社作成

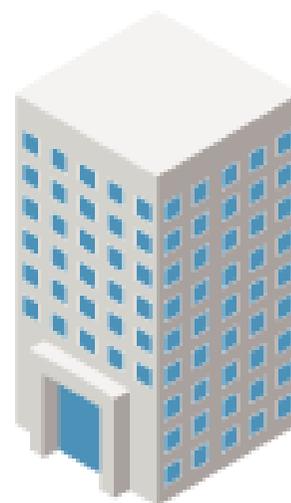
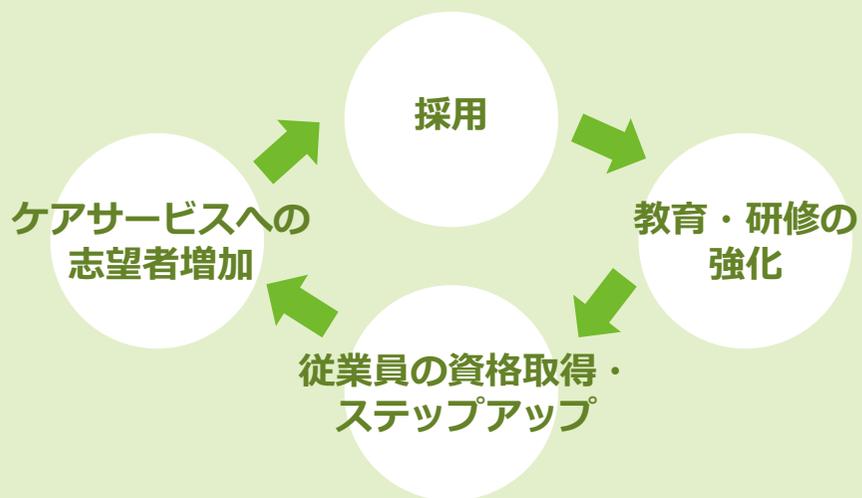
⇒ **当社デイサービス全事業所の9割以上で
中重度者ケア体制加算を取得**

人材確保の強化

- 学校との関係強化
- 社内教育体制の強化

具体的な取り組み

- 新本社における採用・研修機能の強化
- 旧本社における実務研修の強化



6F
本社機能と事業本部機能を集約

社内コミュニケーションの活性化→
「首都圏におけるドミナント戦略の推進」
の加速度的な実現

5F
面談、研修に特化したスペース

採用・教育・研修の拠点として整備→
人材採用・人材育成に注力し、
「長期成長に向けた強い体制作り」

新人社員研修



認知症講座



Aタイプ研修



サービス評価の適正化 効率的なサービス提供体制の構築

- 介護報酬改定の影響を受けない
介護保険外事業の強化

具体的な取り組み

- エンゼルケア事業の人員増強と育成
- ケアマネジャー、訪問看護事業者向けのエンディングセミナーの開催
- クリーンサービス事業の強化



エンディング
セミナーの様子

地域包括ケアシステムの構築に向け、
“病院から在宅”への方針が顕在化

在宅で亡くなられた方の**看取り**が
介護事業者の業務範囲に追加

介護事業者
(他社)

在宅での看取り業務を行った訪問
看護事業者から当社への業務紹介

当社
エンゼルケア事業

従来の商流

互助会、葬儀社

新たなバリュー
チェーンの構築

当社から互助会、葬儀社への葬儀紹介

2014年4月
デイサービスセンター吉祥寺
開設（東京都武蔵野市、定員35名）

2014年11月
フォーライフ草加
開設（埼玉県草加市、50戸53床）



2014年6月
居宅支援永福
開設（東京都杉並区）

2014年12月
デイサービスセンター西蒲田
開設（東京都大田区、定員35名）

2015年1月
ショートステイ西蒲田
開設（東京都大田区、20室）



2015年2月
デイサービスセンター豊町
開設（東京都品川区、定員35名）



2014年6月
配食池上センター
開設（東京都大田区）



- 2015年4月 JR東日本グループが開設した子育て支援と高齢者福祉の複合施設である「COTONIOR（コトニア）赤羽」内にケアプランセンターコトニア赤羽、デイサービスセンターコトニア赤羽（41名定員）を開設



- 2015年6月 デイサービス上池台、久我山、目黒中町から日曜日稼働を開始
→ 16/3月期末時点でデイサービス12店舗にて日曜日稼働を予定

ご清聴ありがとうございました。



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

参考資料①

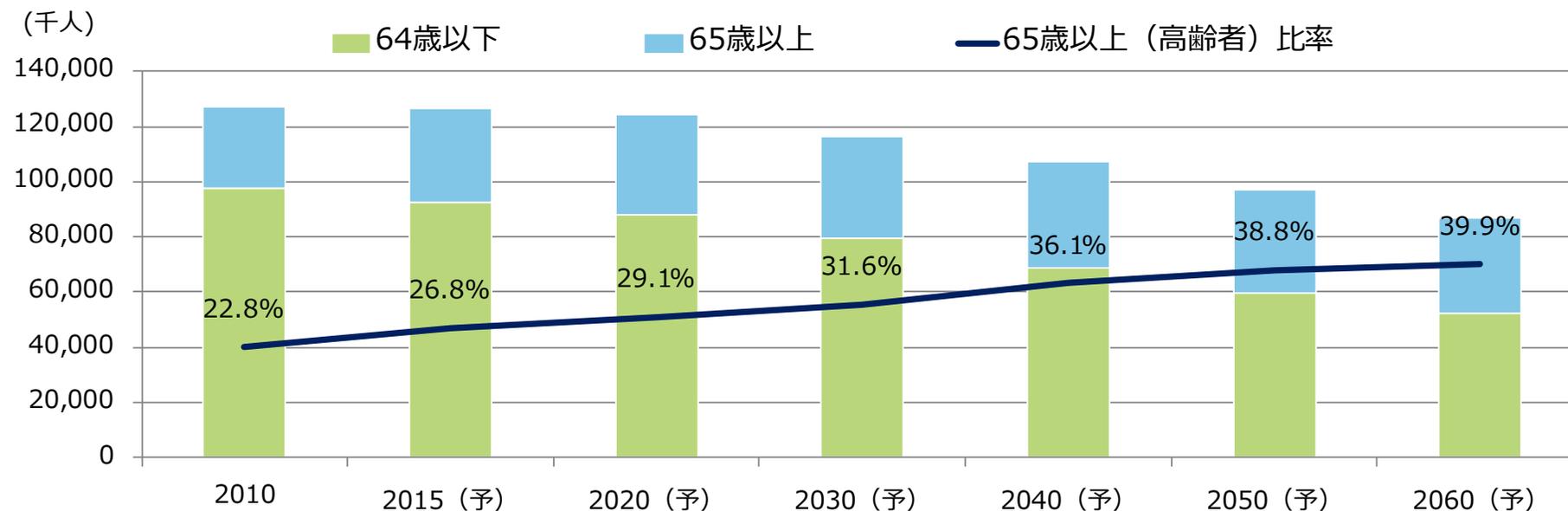
高齢者人口と介護保険法改正の推移

- 2015年以降、高齢人口が大きく拡大し、2055年時点では、65歳以上の高齢者比率が35%を超える模様

当社の見方

団塊世代に介護人口が拡大する2015年前後から、介護業者が選択される時代に入り、競争が激化すると想定

年齢区分別将来人口推計



資料：2010年は総務省「国勢調査」、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成 24年 1月推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果
出所：平成26年版 高齢社会白書

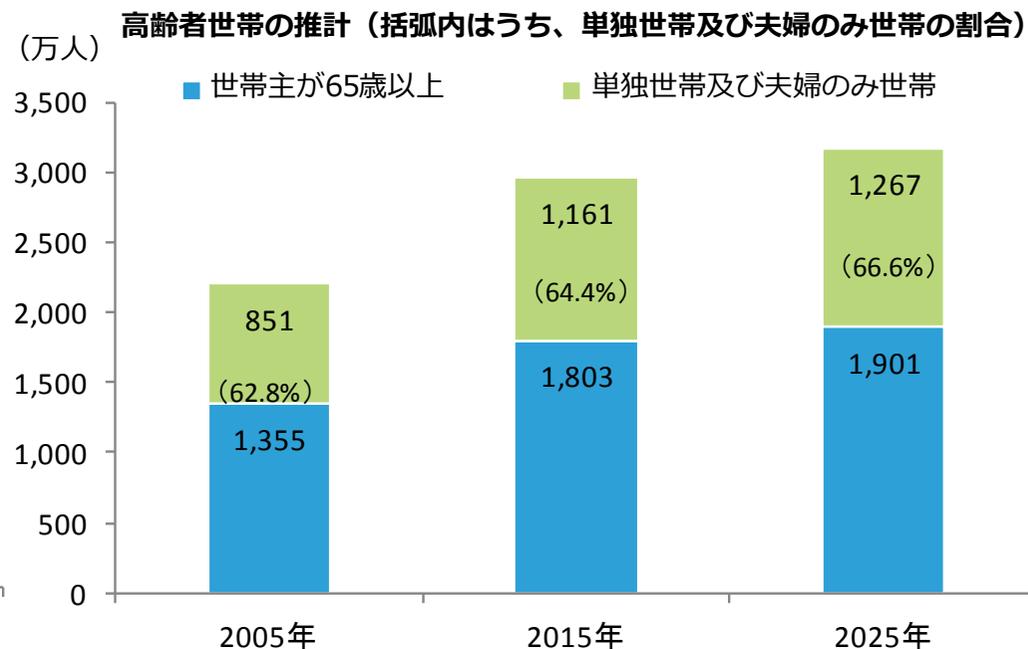
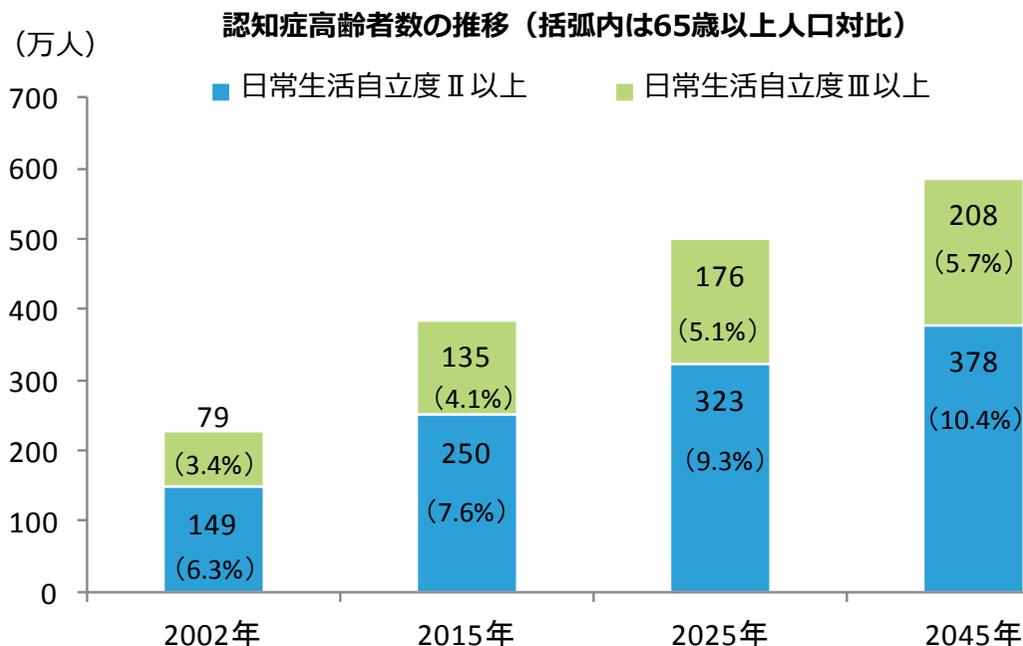
(注) 2010年の総数は年齢不詳を含む。

■ 75歳以上高齢者の全人口に占める割合は増加し、2055年には25%を超える見込み

	2008年	2015年	2025年	2055年
75歳以上高齢者の割合	10.4%	13.1%	18.2%	26.5%

■ 65歳以上高齢者のうち、認知症高齢者が増加

■ 世帯主が65歳以上の世帯のうち、単独世帯や夫婦のみの世帯が増加

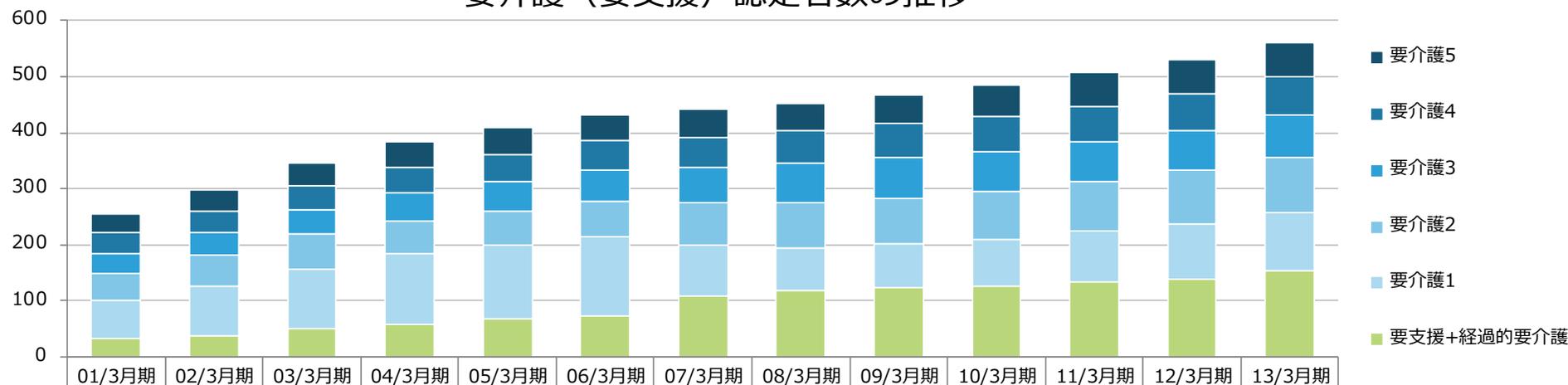


出所：公益社団法人 全国老人福祉施設協議会
H23年5月18日掲載 国土交通省 「サービス付高齢者向け住宅整備事業の募集開始について」に係る参考資料
厚生労働省老健局高齢者支援課作成「介護保険制度改正の動向について」より抜粋

- 高齢化の進展、介護保険制度の浸透に伴い、要介護認定者数も中長期的に拡大
- 一方で、受給者負担増の傾向により、要介護2以下が介護保険対象外になる見通し

(単位：万人)

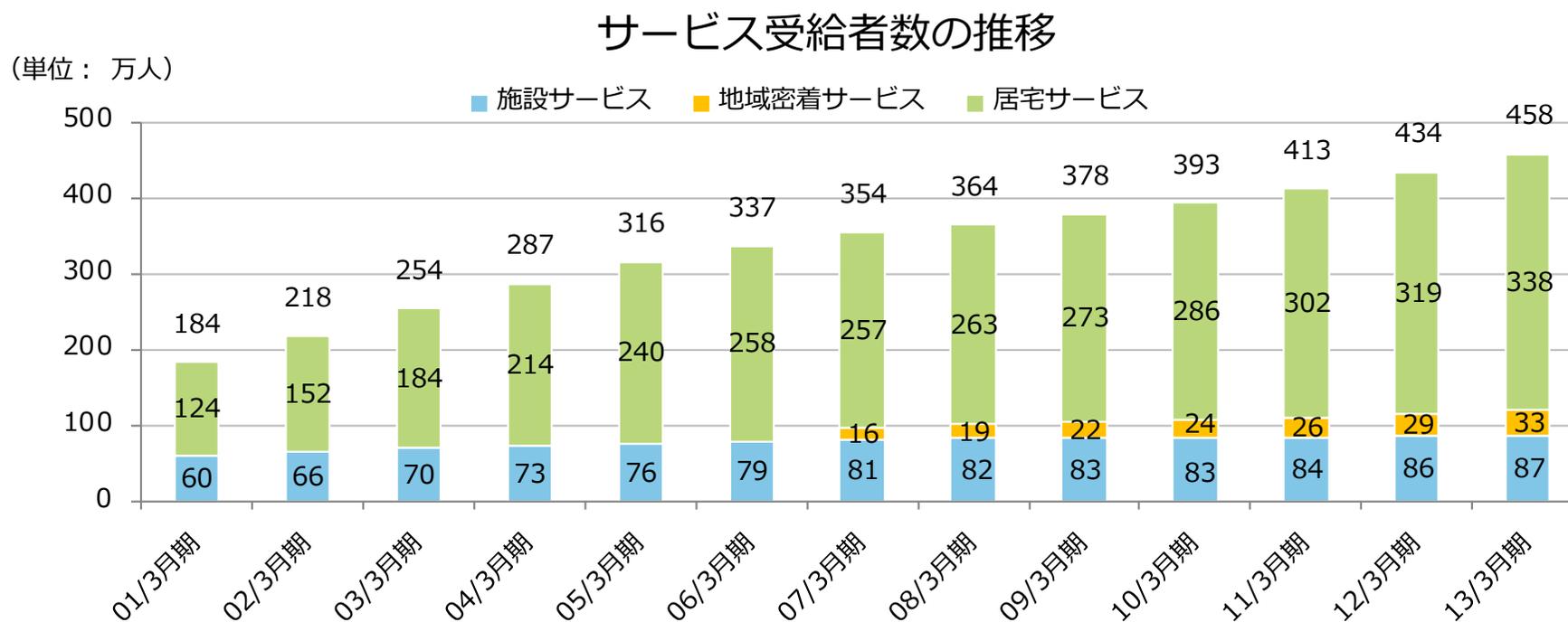
要介護（要支援）認定者数の推移



	01/3月期	02/3月期	03/3月期	04/3月期	05/3月期	06/3月期	07/3月期	08/3月期	09/3月期	10/3月期	11/3月期	12/3月期	13/3月期
要介護5	34	38	41	45	46	46	49	50	51	56	59	61	61
要介護4	36	39	42	47	49	52	54	57	59	63	64	66	69
要介護3	35	39	43	49	52	55	64	71	74	71	70	72	74
要介護2	48	56	64	60	61	64	75	80	82	85	90	95	99
要介護1	70	87	106	124	133	142	90	77	78	85	91	97	105
要支援+経過的要介護	32	39	50	59	67	72	109	118	123	125	133	140	153

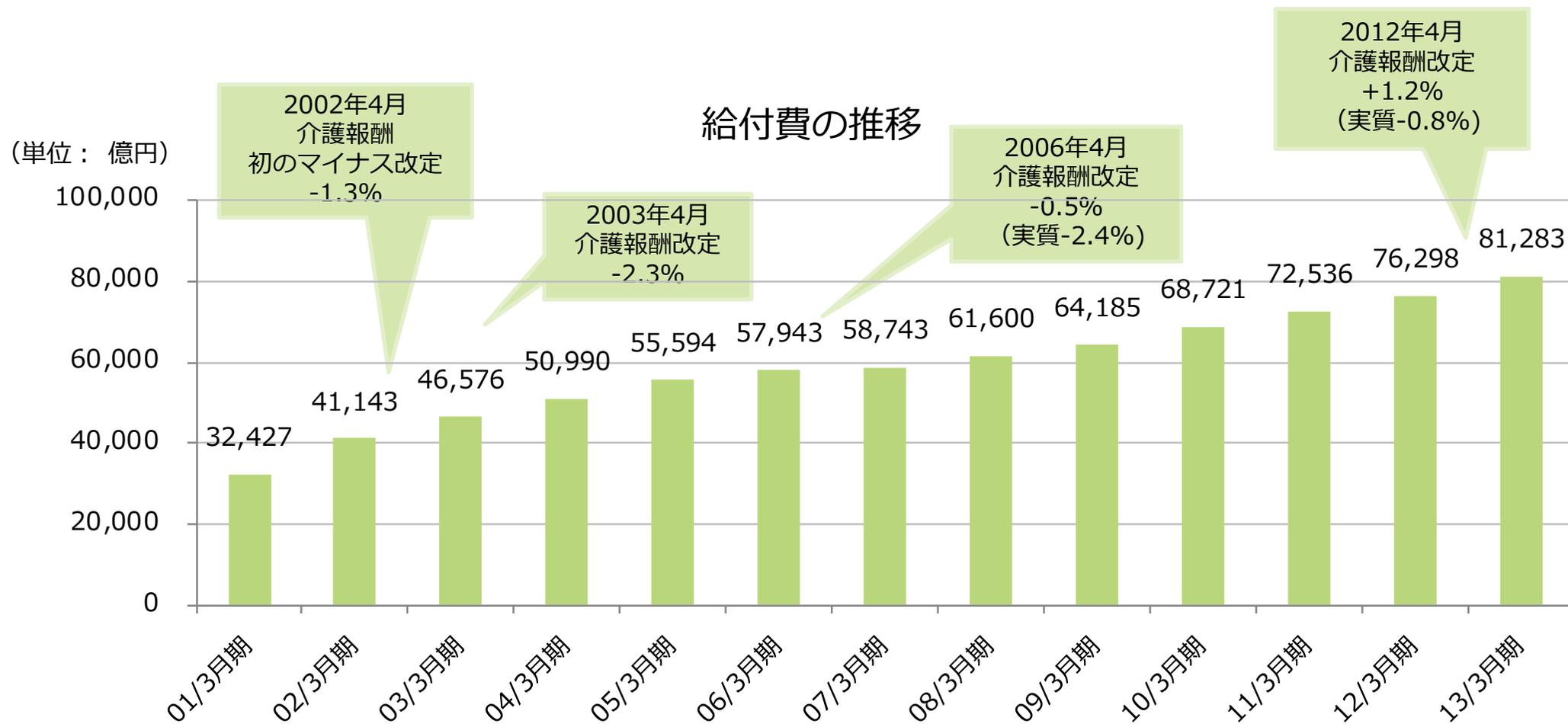
出所：平成24年度 介護保険事業状況報告

■ 高齢化に伴い、重要度を増す医療連携の居宅サービス、地域密着サービス



出所：平成24年度 介護保険事業状況報告

■ 給付費拡大に伴い、改定に際し介護報酬の引き下げが進む



出所：平成24年度 介護保険事業状況報告を基に作成

サービス種類別・地域区分別の1単位の単価

サービス種類 ※ 2012年度改正による単価 (単位:円)	1級地	2級地	3級地	4級地	5級地	6級地	その他
●療養管理 ●福祉用具	10						
●訪問介護 ●訪問入浴 ●夜間対応型 ●ケアマネジメント ●介護予防支援 ●訪問看護 ●定期巡回・随時対応型	11.26	11.05	10.84	10.7	10.42	10.21	10
●訪問リハビリテーション ●デイケア ●認知症デイサービス ●小規模多機能 ●複合型サービス	10.99	10.83	10.66	10.55	10.33	10.17	
●デイサービス ●ショートステイ ●特定施設 ●グループホーム ●地域密着特定施設 ●地域密着特養 ●特別養護老人ホーム ●老人保健施設 ●介護療養病床	10.81	10.68	10.54	10.45	10.27	10.14	

※ サービス種類については、介護予防サービスのある居宅サービス及び地域密着型サービスは介護予防サービスを含む。

出所：介護保険サービス指定基準と介護報酬 平成24年度改正対応を基に作成

サービス種類 ※ 2015年度改正による単価 (単位:円)	1級地	2級地	3級地	4級地	5級地	6級地	7級地	その他
●療養管理 ●福祉用具	10							
●訪問介護 ●訪問入浴 ●夜間対応型 ●ケアマネジメント ●介護予防支援 ●訪問看護 ●定期巡回・随時対応型	11.40	11.12	11.05	10.84	10.70	10.42	10.21	10
●訪問リハビリテーション ●デイケア ●ショートステイ ●認知症デイサービス ●小規模多機能 ●複合型サービス	11.10	10.88	10.83	10.66	10.55	10.33	10.17	
●デイサービス ●特定施設 ●グループホーム ●地域密着特定施設 ●地域密着特養 ●特別養護老人ホーム ●老人保健施設 ●介護療養病床 ●短期入所療養介護	10.90	10.72	10.68	10.54	10.45	10.27	10.14	

※ サービス種類については、介護予防サービスのある居宅サービス及び地域密着型サービスは介護予防サービスを含む。

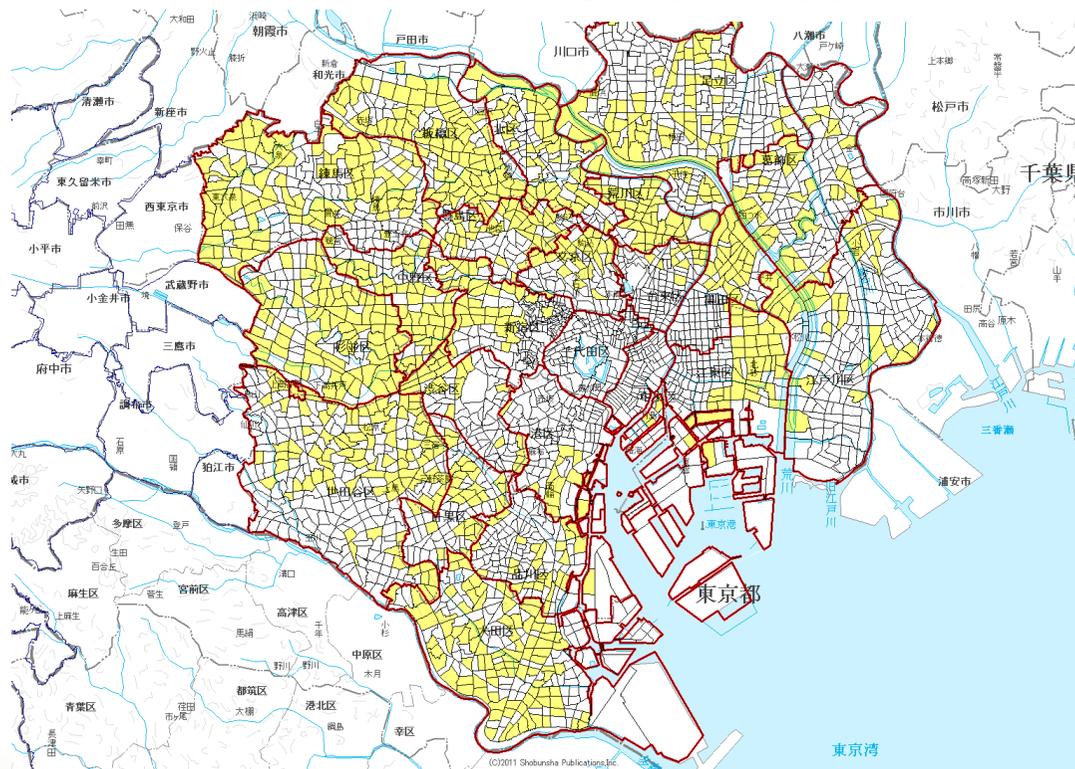
出所：ワムネット 介護保険事務処理システム変更に係る参考資料を基に作成

■ 首都圏をはじめとする都市部における急速な高齢化（65歳以上人口）の進行

都市部における高齢化人口	東京都	埼玉県	千葉県	神奈川県	秋田県	山形県	鹿児島県	(万人)
2005年時点での高齢者人口	230	116	106	149	31	31	44	
2015年時点での高齢者人口	306	179	160	218	34	34	48	
増加率	33%	55%	50%	47%	11%	10%	10%	

出所：東京都を除き、公益社団法人 全国老人福祉施設協議会
H23年5月18日掲載 国土交通省「サービス付高齢者向け住宅整備事業の募集開始について」に係る参考資料
厚生労働省老健局高齢者支援課作成「介護保険制度改正の動向について」より抜粋
東京都データについては、東京都発行の冊子【人口動向から見た【2020年の東京】】より抜粋

東京23区内 高齢者人口分布



黄色：65歳以上の要介護者数が多く、
かつ25歳～69歳人口が多い地域

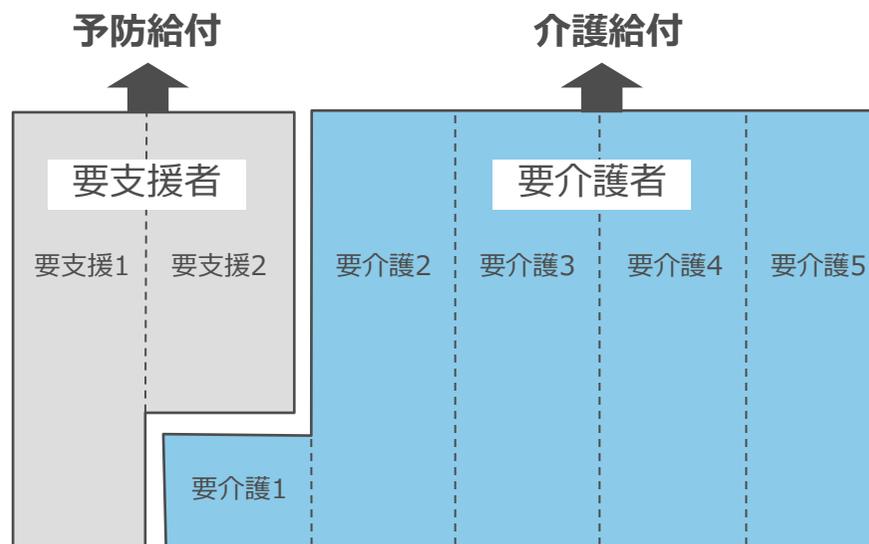
出所：Terra Mapで作成

■ 他地域に先駆けて 高齢化が先行する東京23区

地域における高齢者の自立した生活を目的に、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが切れ目なく提供される「地域包括ケアシステム」実現に向けた取り組みの推進

- 医療と介護の連携の強化等
- 介護人材の確保とサービスの質の向上
- 高齢者の住まいの整備等
- 認知症対策の推進
- 保険者による主体的な取り組みの推進
- 保険料上昇の緩和

保険給付と要介護状態区分のイメージ



- 要支援者は予防給付、要介護者は介護給付とする
- 給付の効率化の観点から、要支援者に対する予防給付については、支給限度額、報酬単価の見直しを行う

現行区分： 要支援 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5

出所： 厚生労働省老健局「介護保険制度改革関連法案 -参考資料-」をもとに、当社にて作成

要支援者の訪問介護、通所介護の総合事業への移行 (介護予防・生活支援サービス事業)

- 多様な主体による柔軟な取り組みにより効果的かつ効率的にサービスを提供できるよう、予防給付の訪問介護、通所介護は、事業にすべて移行（平成29年度末＝2017年度末まで）
- その他のサービスは、予防給付によるサービスを利用

予防給付によるサービス

- ・訪問介護
- ・通所介護

- ・訪問看護
- ・訪問リハビリテーション
- ・通所リハビリテーション
- ・短期入所療養介護
- ・居宅療養管理指導
- ・特定施設入所者生活介護
- ・短期入所者生活介護
- ・訪問入浴介護
- ・認知症対応型通所介護
- ・小規模多機能型居宅介護
- ・認知症対応型共同生活介護
- ・福祉用具貸与
- ・福祉用具販売
- ・住宅改修 など

訪問介護、通所介護
について事業へ移行

新しい総合事業によるサービス

(予防給付新地域支援サービス＝
介護予防・生活支援サービス事業)

- ・訪問型サービス
 - ・多様な担い手による生活支援
- ・通所型サービス
 - ・ミニデイなどの通いの場
 - ・運動、栄養、口腔ケア等の教室
- ・生活支援サービス
(配食・見守り等)
 - ・介護事業所による訪問型・通所型サービス

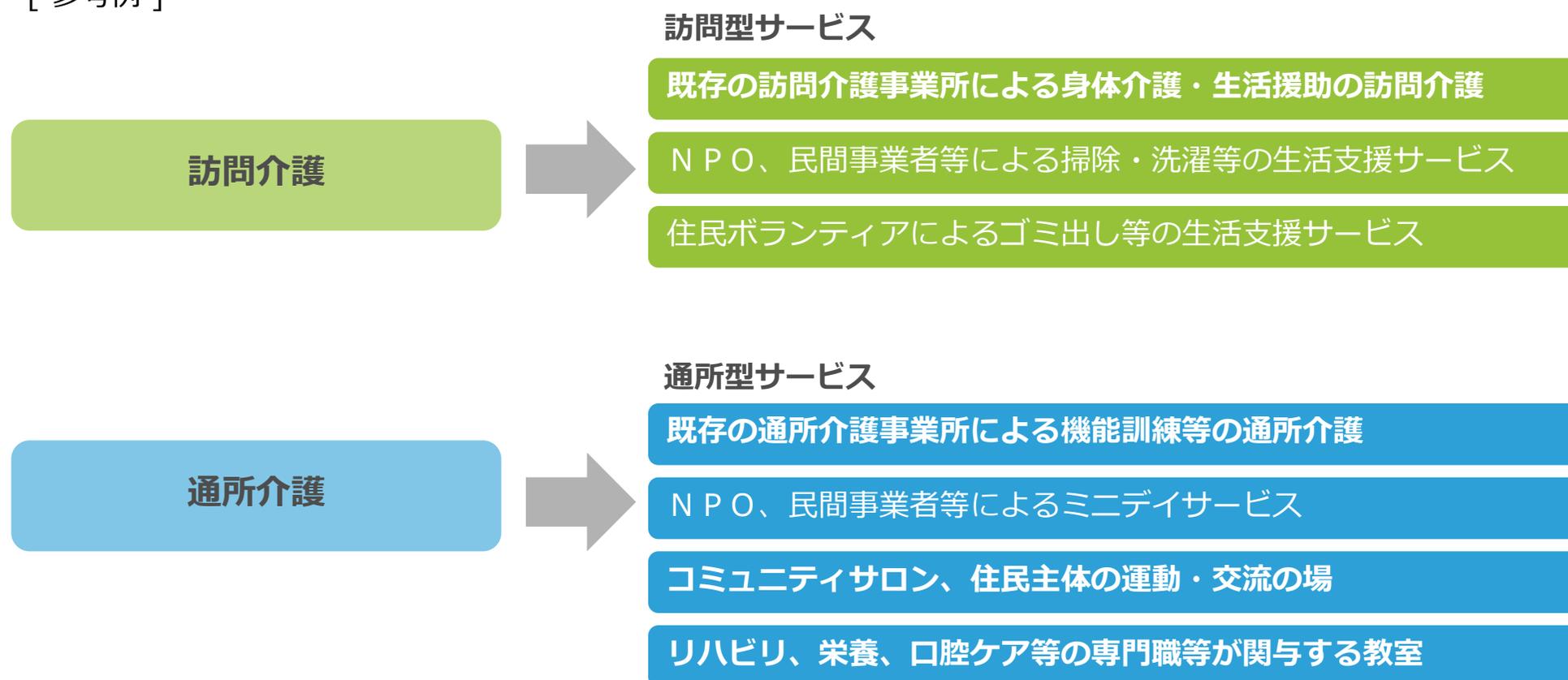
※多様な主体による多様なサービスの提供を推進
※総合事業のみ利用の場合は、基本チェックリスト該当で利用可

従来通り、予防給付の範疇

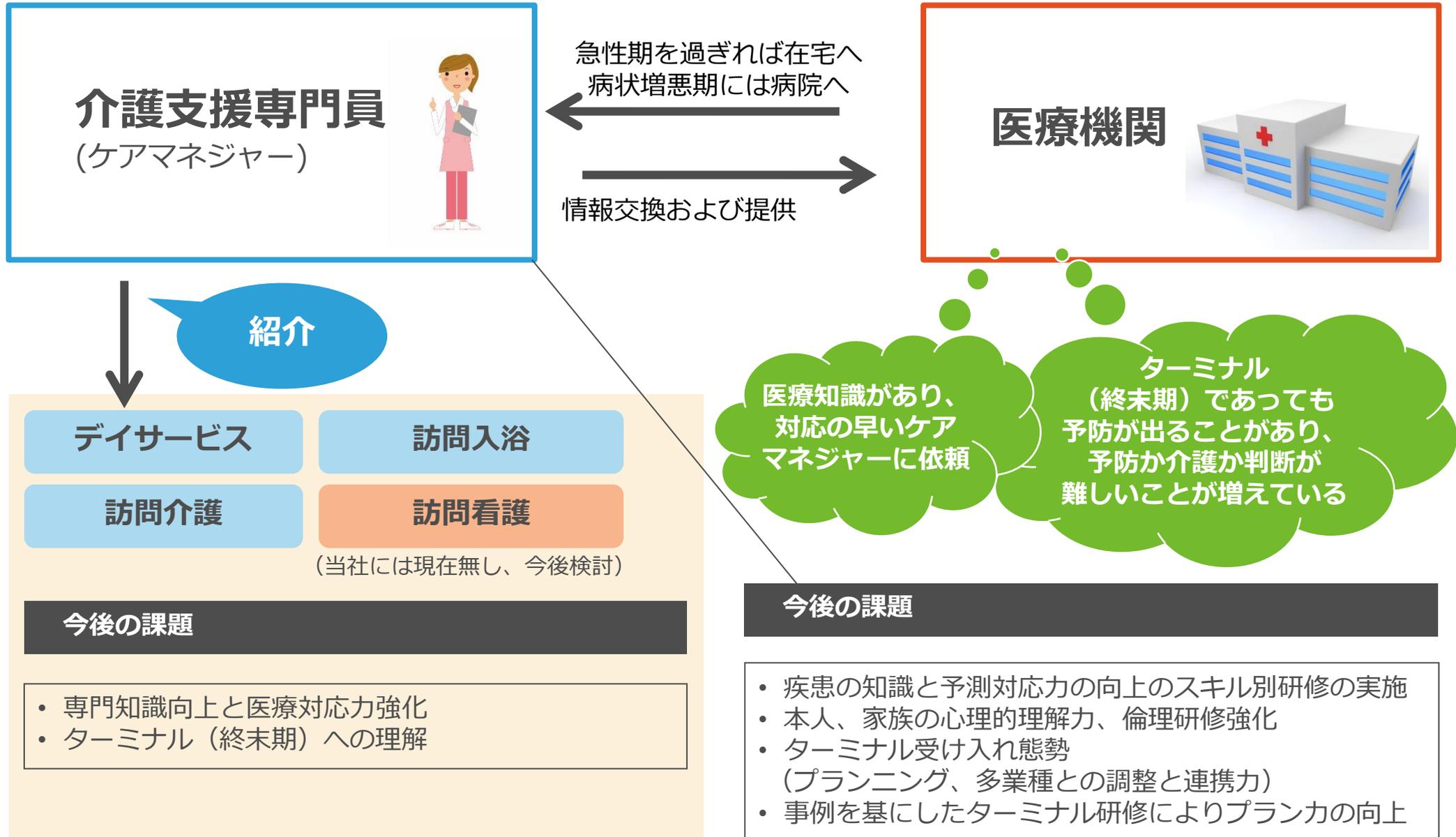
出所： 社会保障審議会 介護保険部会（第52回）平成25年11月14日
資料2「予防給付の見直しと地域支援事業の充実」

- 全国一律のサービス内容であった訪問介護や通所介護については、市町村の総合事業に移行することにより、既存の介護事業所による既存のサービスに加えて、多様なサービスが多様な主体により提供され、利用者が多様なサービスを選択可能となる

[参考例]



出所： 社会保障審議会 介護保険部会（第52回）平成25年11月14日
資料2「予防給付の見直しと地域支援事業の充実」



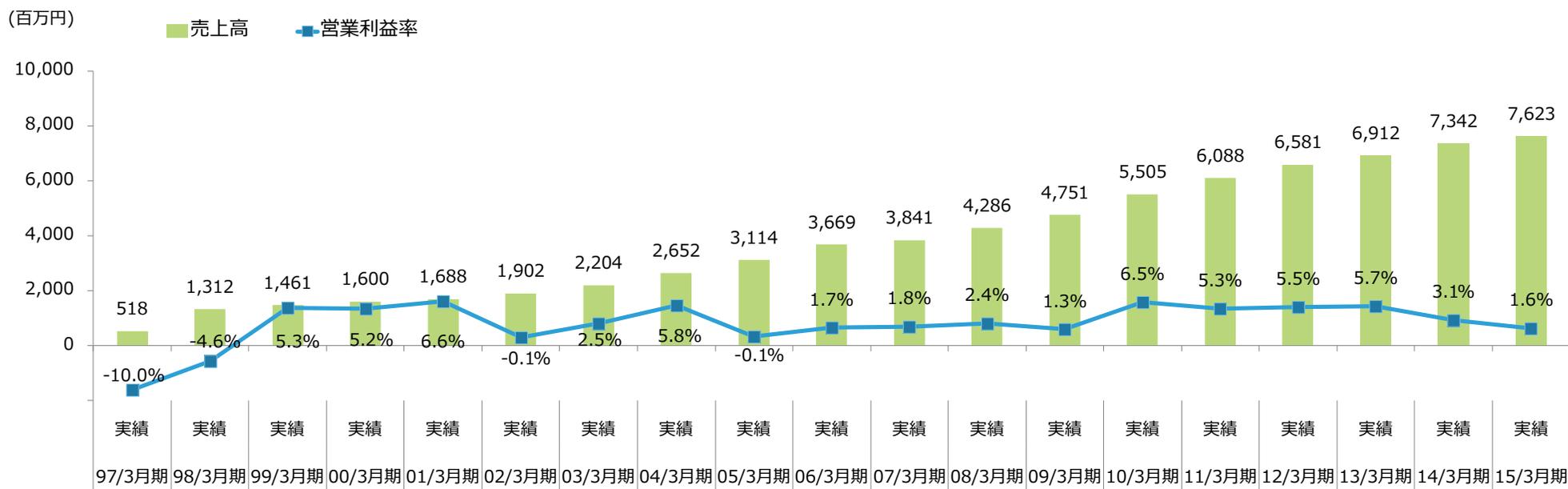


介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

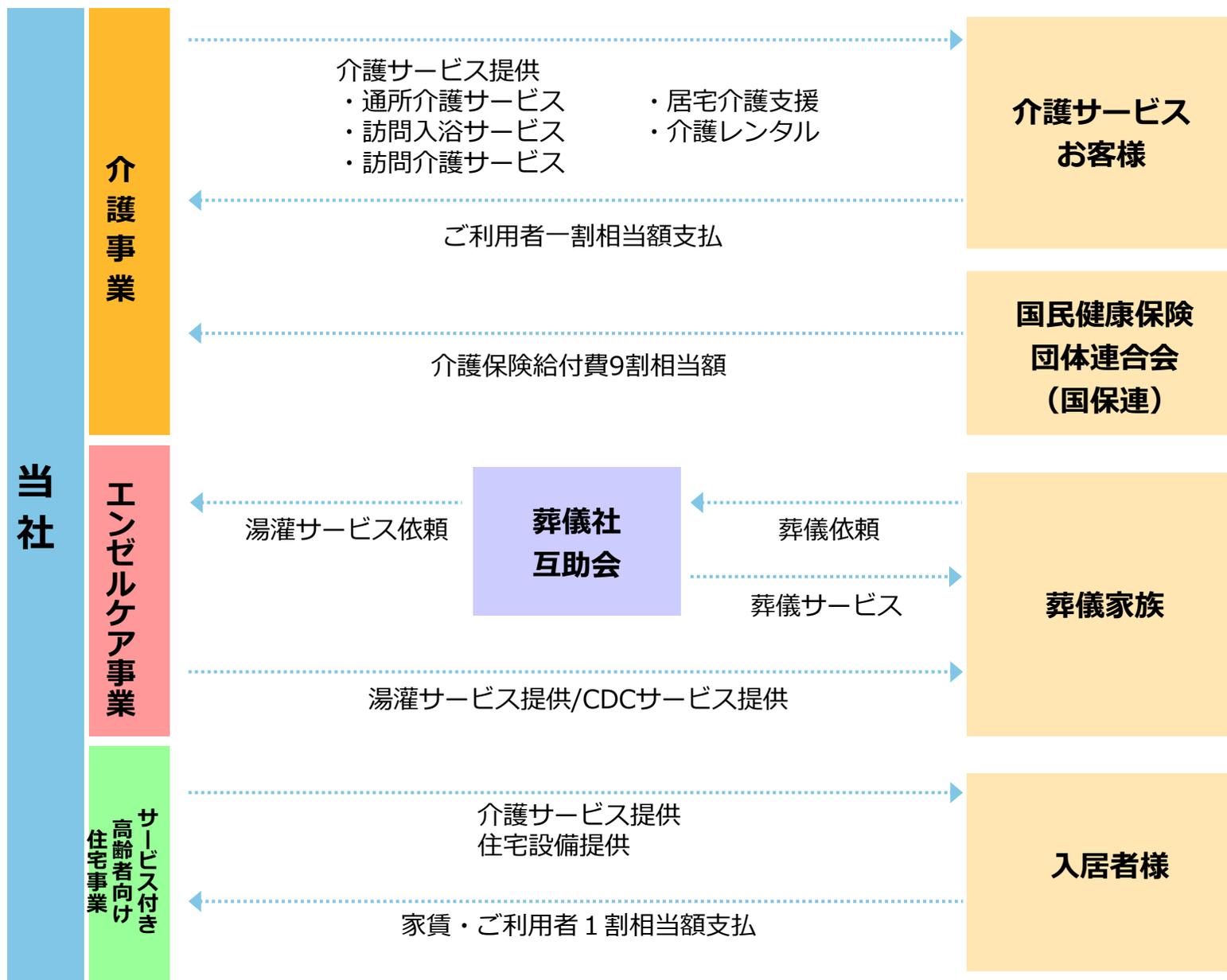
参考資料② ケアサービスの変遷

当社の業績推移と主な沿革

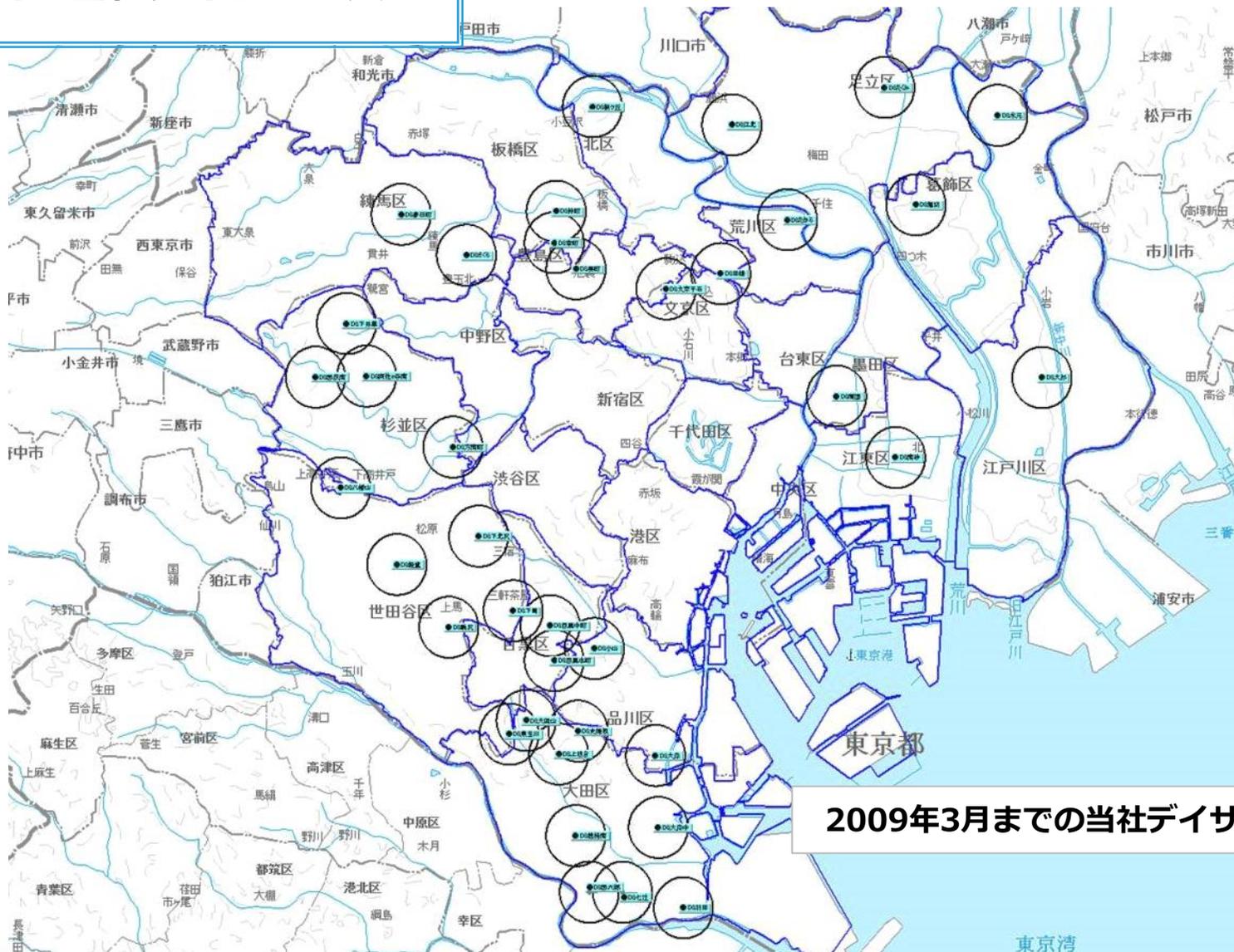
- 1970年 寝たきり老人などの布団の消毒乾燥を行う寝具乾燥事業で創業
- 1983年 高齢者福祉のための介護サービスを目的とした介護部門を創設
- 1990年 葬儀におけるエンゼルケアサービスを始動
- 1991年 訪問介護サービス、訪問入浴サービスのための株式会社ケアサービス設立
- 1992年以降、大田区を皮切りに首都圏を中心に、居宅介護支援事業所、デイサービスセンター、サービス付き高齢者向け住宅（フォーライフ）などを開設



当社の事業系統図



東京都内 当社デイサービス

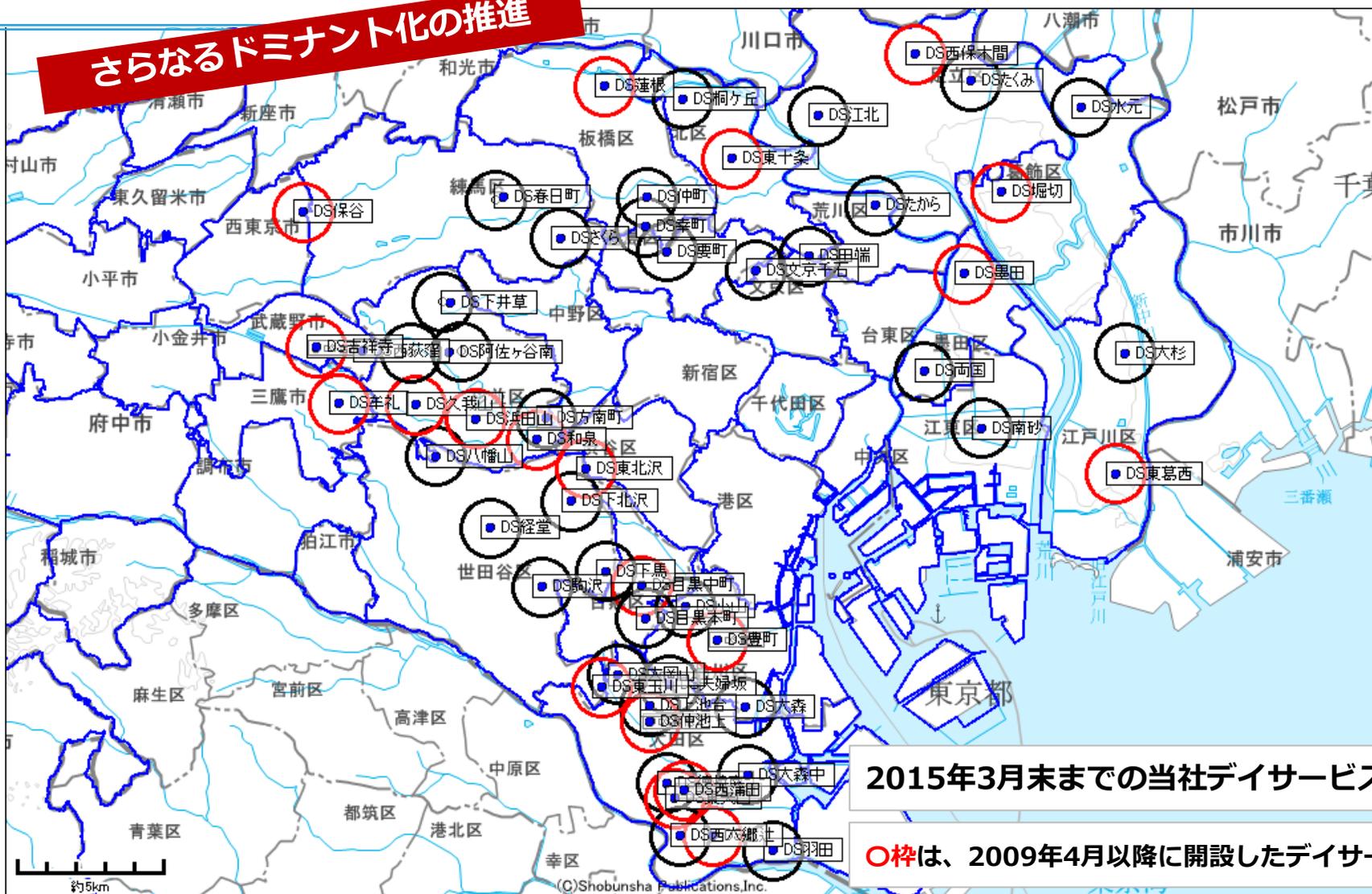


2009年3月までの当社デイサービス 38店舗

出所：Terra Map

東京都内 当社デイサービス

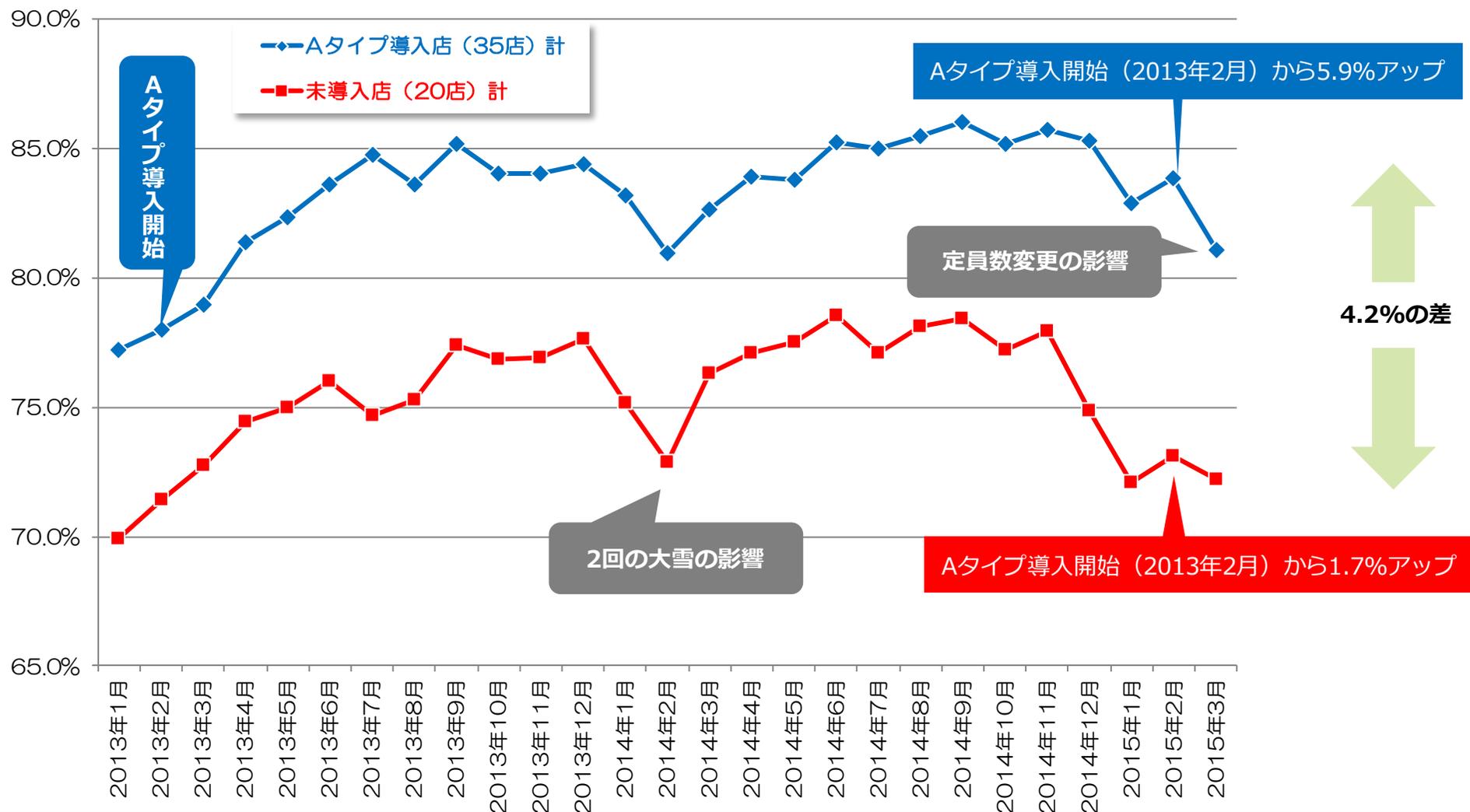
さらなるドミナント化の推進



出所：Terra Map

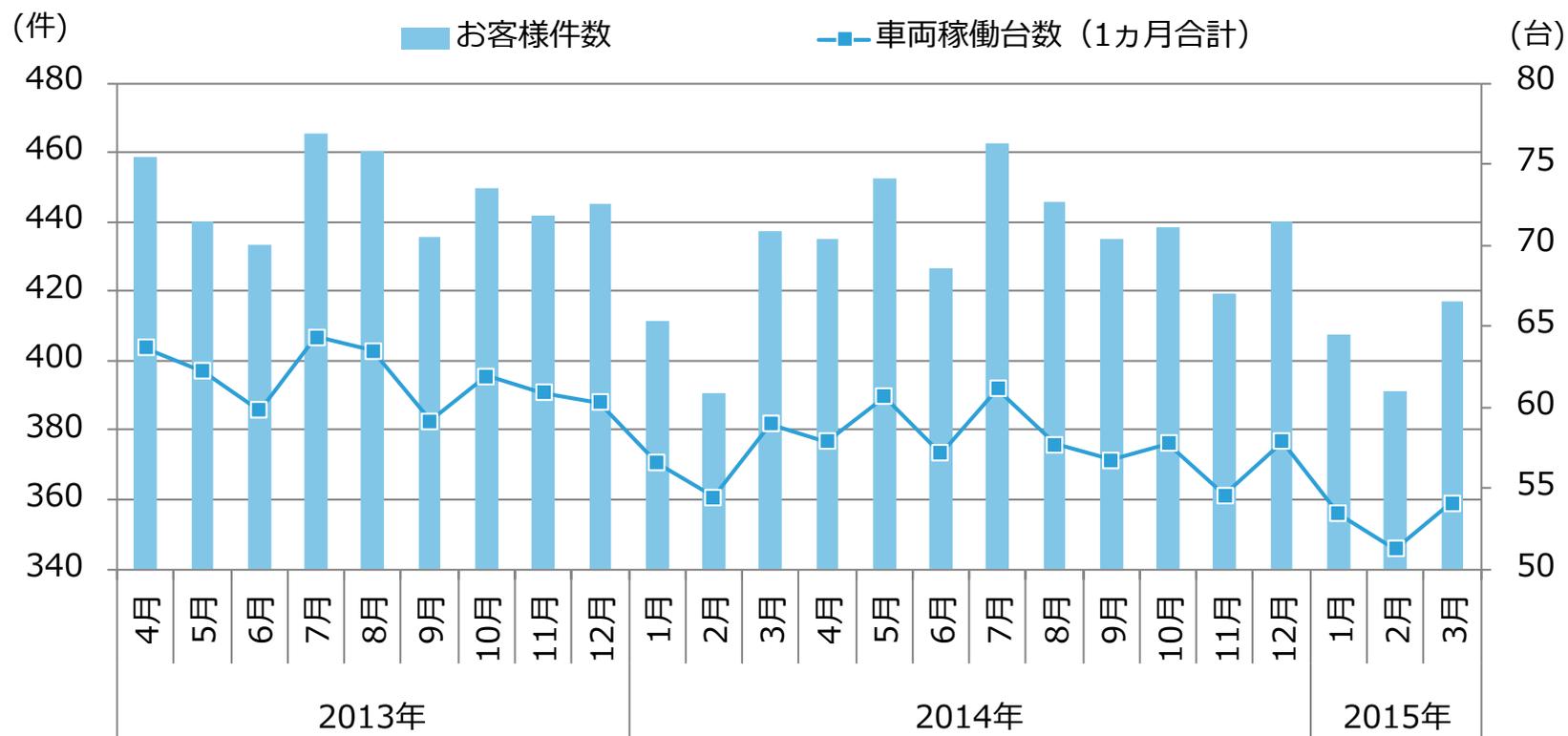
■ Aタイプの導入目的：稼働率の向上及び母体数の増加

- 稼働率向上及び母体数増加のための施策⇒品質の向上：スタッフの人間性の育成



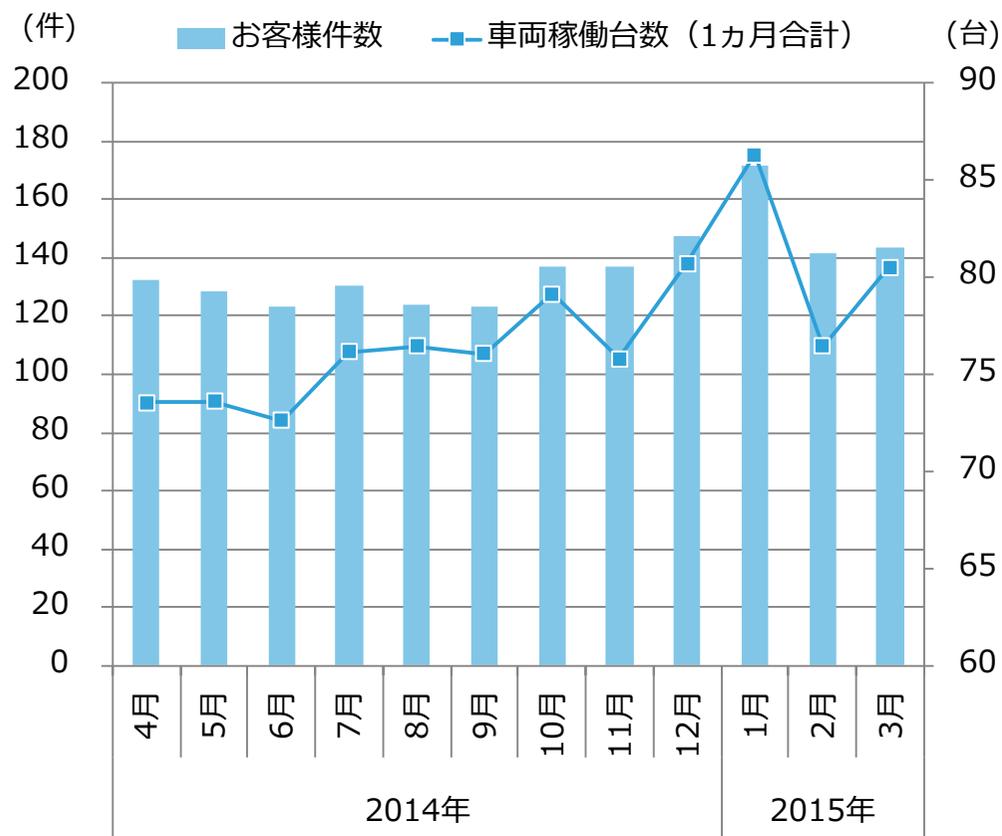
■ 入浴車両一台当たり8件/日を目標とした母体数増加を目指す

お客様件数と車両稼働台数（1ヶ月合計）の推移

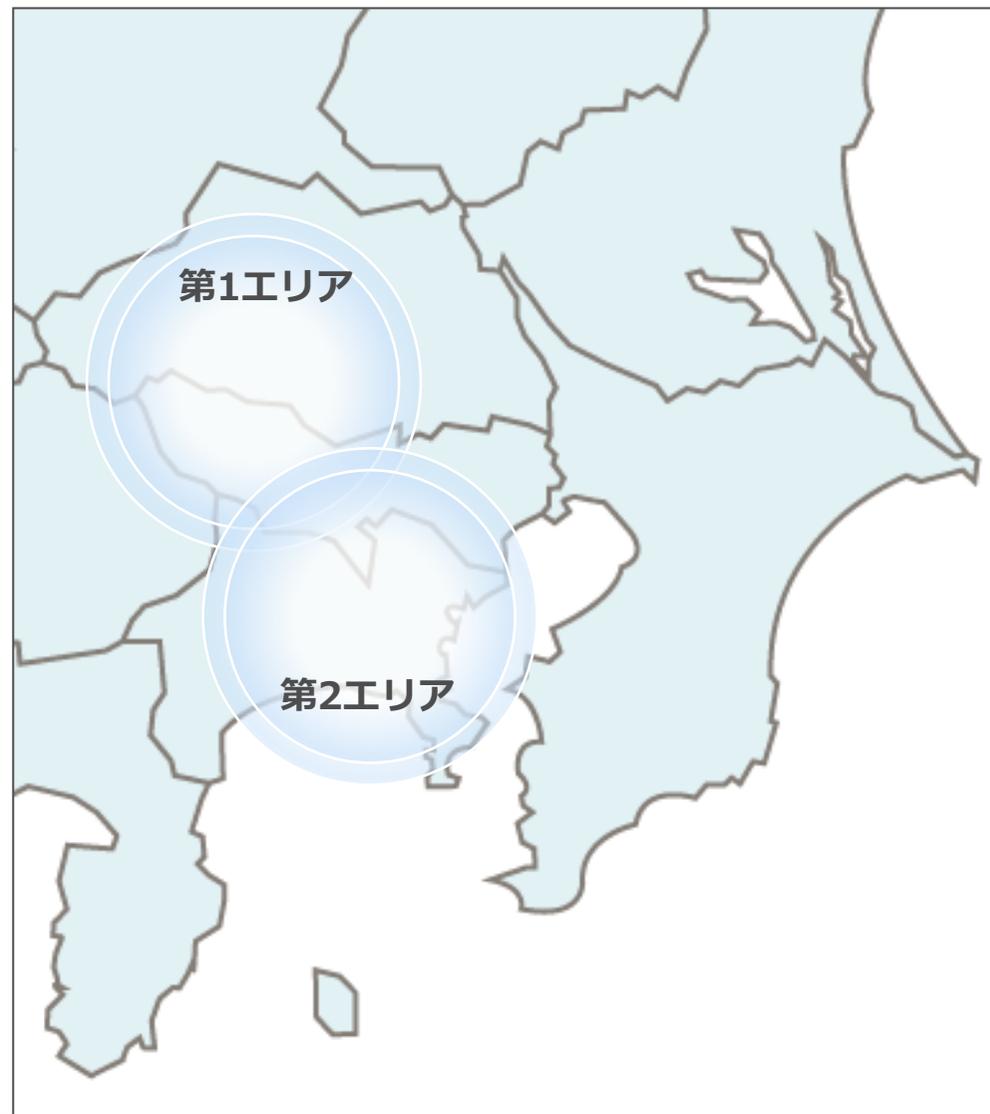


■ 拠点数増による配車効率の向上

- 第1エリア
- 第2エリア



第1エリア、第2エリアを中心とした拠点数
増強により配車効率の向上を目指す



■ 市場環境の前提

- 社会の高齢化は引き続き進むものの、新規事業者の参入等により、競争はさらに激化
- 3年に1度の介護報酬改定については、今後とも報酬抑制の傾向が継続

【ご参考】

	(単位)	15/3月期 実績	16/3月期 予想	17/3月期 計画	18/3月期 計画	当中計期間 年平均変化率
売上高	(百万円)	7,623	8,063	8,304	8,508	2.7%
介護事業	(百万円)	5,594	5,903	6,043	6,182	2.3%
エンゼルケア事業	(百万円)	1,621	1,601	1,681	1,728	3.9%
フォーライフ事業	(百万円)	407	558	578	598	3.5%
営業利益	(百万円)	118	265	290	315	9.0%
経常利益	(百万円)	116	241	276	305	12.3%
当期純利益	(百万円)	40	128	148	163	12.9%

主要拠点数

デイサービス	(拠点)	55	52	52	52	0.0%
エンゼルケア	(拠点)	20	20	20	20	0.0%
フォーライフ※	(拠点)	4	4	4	4	0.0%

※ 特定施設入居者生活介護の認可を受けております



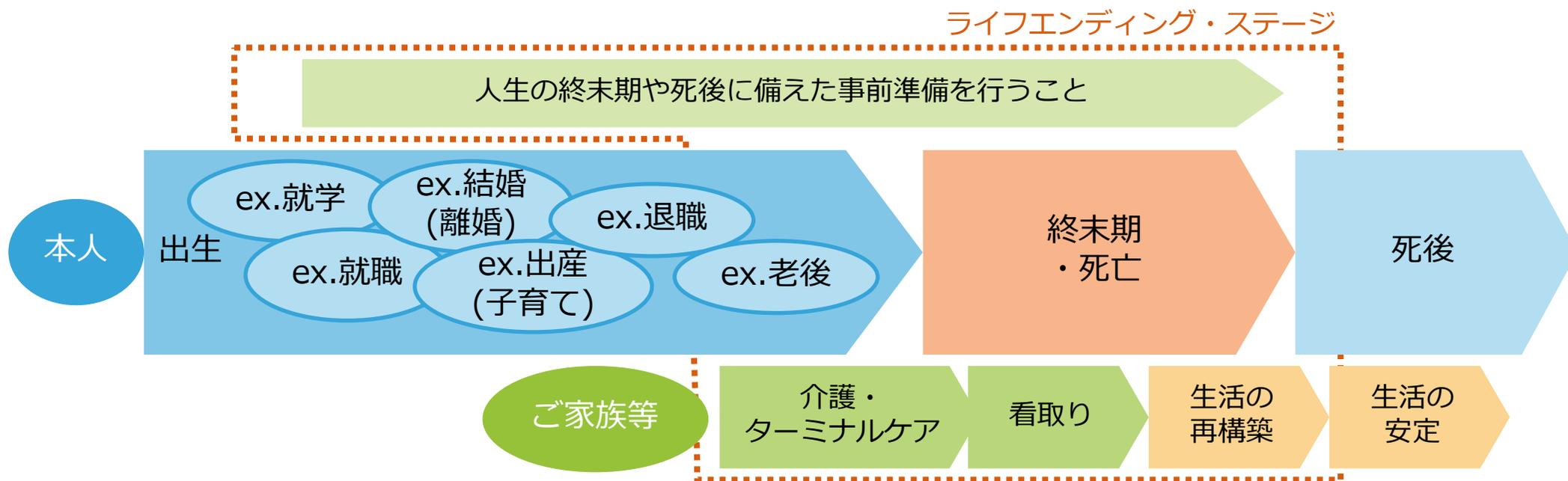
介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

参考資料③

高齢者サービスの方向性 (ライフエンディングステージ)

安心と信頼のある「ライフエンディング・ステージ」の創出に向けたケアサービスの取り組み

- お客様一人ひとりのQOL (Quality of Life : 人生や生活の質) の維持・改善を図るとともに、「ライフエンディング・ステージ」に向けての準備のための啓発
- デイサービスセンターを核とした地元密着型のコミュニティ作り



出所：経済産業省

ライフエンディング・ステージとは

2011年8月、安心と信頼のある「ライフエンディング・ステージ」の創出に向けて～新たな「絆」と生活に寄り添う「ライフエンディング産業」の構築～と題する報告書を経済産業省が公表し、基盤整備に向けた取り組みが進められています。

介護事業、エンゼルケア事業の双方を持つ当社の強みを活かした新規事業への取り組み

「心豊かな人生を」「そして感動の旅立ち」の市場をつなぐ事業モデルを構築

高齢化の進捗とともに
拡がるサポート領域
重要となる通所介護サービスの進化

生前準備支援

- 生活支援サポート
(ハウスクリーン・介護用具貸与・見守りサービス等)
- エンディングノート(元気なうちから準備)
- 葬儀相談(自分の求める形での葬儀)

居宅支援(介護の相談窓口)

デイサービス(通常/認知症)

訪問入浴

訪問介護

グループホーム・
多機能等

サービス付き高齢者向け住宅
(フォーライフ)

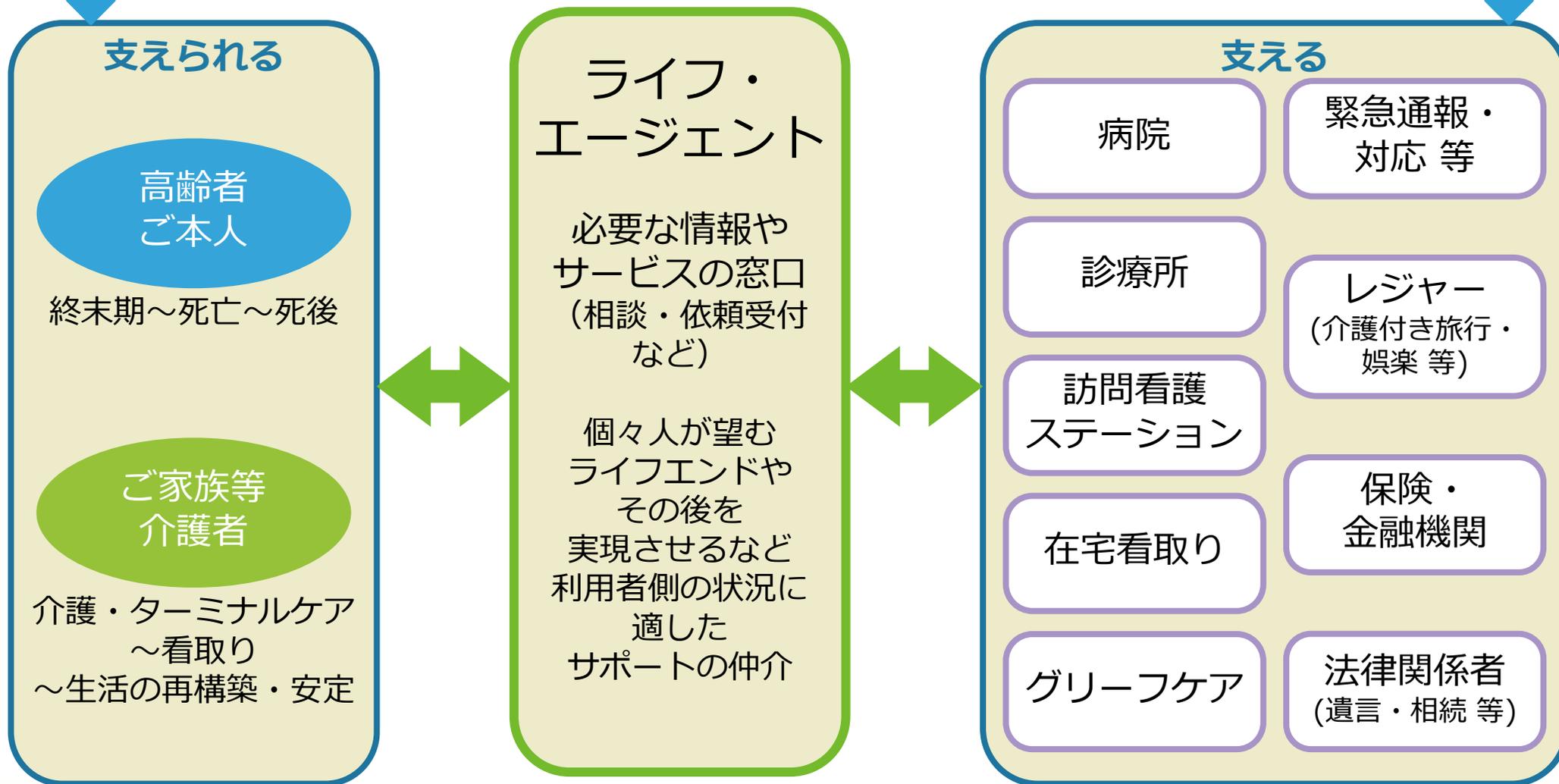
心豊かな人生を (介護事業)

介護の到達点
～感動の旅立ち～
「湯灌サービス」
「お化粧品サービス」

旅立ち後の支援
～残されたご家族に～
「遺品整理サービス」
「遺品供養サービス」
「ハウスクリーン
サービス」

そして感動の旅立ち (エンゼルケア事業)

当社と繋がるすべての方々の「豊かなくらし」と「安心できる未来」のために
価値ある価格で充実したサービスを提供



本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おき下さい。

お問い合わせ先

株式会社ケアサービス 経営企画部

TEL 03-5753-1170

E-mail ir@ care.co.jp